

令和元年度瑞陵会総会・交流会

令和元年度総会・交流会は2019年8月25日(日)12時から、約140名の参加者を得て、メルパルク名古屋で開催された。

総会は、中村利雄会長が議長となり、事務局から役員変更、30年度決算報告、令和元年度予算の説明、期別幹事の選出、「瑞陵会」及び「瑞陵会基金」の活動に関する報告等が行われた。また、今秋に感喜堂で行われる催しの紹介があり、議事は滞りなく終了した。

続いて、同志社大学経済学部教授、経済学博士・八木匡氏(29回)を講師として、「偉大なるOB 経済学者 都留重人氏の視座と瑞陵魂」という演題で記念講演が行われた。(要旨はp.4に掲載)

その後の交流会は、29回生が企画・運営を行い、市川裕一氏が司会を務めた。

開会にあたり、中村利雄会長からご挨拶があった。会長からは最初に、同日に実施されている「ど真ん中祭り」について、100万人の参加がありアイデアが良いと発展するものだとお話しがあり、ご自身も最初のころ関わっていたこととお話しされた。次に、本日の八木教授の「瑞陵魂」についてとても共感し感動されたこととお話しになった。8年間会長を務められ次期会長への期待とOBの積極的参加と支援を呼びかけられ、この間の支援に対する謝意を述べられた。

次に、ご来賓の嶋田麻知代校長からご挨拶があった。校長は、瑞陵会から現役生への日頃の支援に対する謝意、特に定時制について令和2年度から募集停止となり断腸の思



いであることを報告された。沖縄でインターハイ(高校総体)があり、瑞陵会の援助もあって陸上部8名の生徒を送り出し、やり投げ、4×400mリレーが全国7位入賞になったと報告があった。とりわけリレー種目で公立高校として決勝まで行ったのは愛知県で2回目のことであり、瑞陵魂を引き継いでいると力強いお話しがあった。

続いて、久田宗弘氏の乾杯のご発声で交流会が始まった。

さらに、江戸川乱歩を紹介するテレビ番組と、卒業生であるパンサー向井さんが本校食物科を紹介する番組の二本が放映され、29回生による三線、尺八、ギター、カホンの演奏で、交流会の雰囲気を大いに盛り上げた。

恒例のお楽しみ抽選会、校歌斉唱、安島正美・関東瑞陵会会長(18回)のリードで応援歌の合唱も行われた。最後に青木偉晃副会長(17回)の閉会挨拶でお開きとなった。

令和2年度瑞陵会 総会・記念講演・交流会中止のお知らせ

誠に残念ですが、今年度の総会関連行事は全て中止いたします。

来年2021年は8月22日(日)12時からメルパルク名古屋で開催する予定です。
行事の担当は30回生(昭和53年3月卒)の皆さんです。

なお、総会の資料を、本会報p.6に掲載してありますので、ご覧ください。

ご挨拶



瑞陵会会長 佐合 広利 (20回)

昨年8月25日の瑞陵会総会で瑞陵会会長に選任されました20回の佐合広利です。中村前会長から次期会長を引き受けるようお話があり、微力ではありますが瑞陵会の発展のため精一杯頑張りたいと思います。同窓生各位におかれましては、中村前会長と同様のご厚誼を賜りますようよろしくお願いいたします。

まず、新型コロナウイルスの感染が拡大している状況を鑑み、4月28日開催予定の瑞陵会役員会を中止し、書面議決により、2019年度会計報告、2020年度予算案等の議決事項について承認されたことを報告します。

また、8月23日(日)開催予定の総会・講演会・交流会につきましては、6月19日に会長・副会長会を開き協議した結果、緊急事態宣言が全面解除されましたが、第2波の感染拡大の懸念、ワクチンの開発の遅延など完全終息が見通せない状況を踏まえ、残念ながら総会・講演会・交流会を中止といたしました。なお、各種事業は、会長・副会長で相談しながら実施し、来年度の総会・役員会で報告いたします。何卒ご理解いただきたいと思ひます。

さて、中村前会長は、役員若返り・組織体制の整備、賛助会費や(一財)瑞陵高校瑞陵会基金による財政基盤の確立、そして、文化的価値の高い旧講堂「感喜堂」の保存、学習室・空調設備の設置、110周年記念式典の開催など一連の110周年事業の成功により、母校の発展に大きく寄与されました。

中村前会長のこれまでの取組みや母校に対する思いを引き継ぎ、会員の皆様のご支援、ご協力をいただきながら「会員相互の親睦、母校の発展(学校支援、生徒支援)」という同窓会の目的を果たすよう努力したいと思います。

今年度の主な事業は、偉業を成し遂げた諸先輩方の顕彰事業として、①江戸川乱歩旧居跡記念碑の設置及び名古屋市市政資料館企画展「江戸川乱歩と名古屋」への協力、②杉原千畝先輩の「命のビザ」発給80年事業として、学生時代の千畝像設置支援など名古屋市事業への協力、③谷川徹三先輩、岡部金治郎先輩の顕彰パネルの制作(感喜堂内設置)を実施するとともに、瑞陵会ホームページの刷新・活性化を図りたいと思ひます。

多くの同窓生の各種事業への参加、協力をお願いします。

力強く前進



校長 嶋田 麻知代

瑞陵会の皆様におかれましては、日頃から母校の教育活動にご支援ご協力を賜り、心から感謝しております。新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい始めた頃、佐合会長様をはじめとする同窓生の方々から、在校生や教職員への励ましのご連絡を頂き、誠にありがとうございました。

昨年度3月から今年度にかけての3か月に及ぶ休校期間、1週間の分散登校を経て、ようやく6月から通常の教育活動を再開しました。しかしながら、現在も全員がマスクを着用し、グループ活動を控えるなど、新しい生活様式を意識した学習形態に留まっています。

また、休校中の学習を保障するため、夏休みは全日制で約半分の19日間とし、定時制も1週間程度短縮しました。県内では、学校祭の中止を決定した高校もありますが、本校記念祭は感染防止策を徹底し、生徒が主体的に、例年とは異なる内容と方法により実施します。限られた環境下での開催となりますが、創意工夫に富んだ思い出深い記念祭となり、生徒の成長に確実に繋がると信じております。定時制の伝統である11月の瑞定祭も実施する予定です。

なお、「3密」を防ぐために、保護者や同窓生、一般の方々には入場して頂くことができません。何卒ご理解頂きますようお願い申し上げます。

さて、教育委員会から、本校に関する2つの重大発表がありました。

①定時制課程の募集停止

令和4年度をもって82年間の幕を閉じます。これは、近年の入学生が20名に満たない状況が続いていること、昼間定時制と夜間定時制を併せもつ県立城北つばさ高校が平成29年4月に開校したことを踏まえた決定であると聞いております。多くの優秀な卒業生を輩出した定時制の歴史を考えると断腸の思いですが、在校生には母校は存在することを伝え、教育活動の充実を図ってまいります。

②理数科の設置

普通科コスモサイエンスコースの実績が評価され、令和4年度から理数科として発展させることとなりました。現在の実験や実習を通した理数科目の充実を継続し、探究活動や先進的な理数教育に取り組み、国際社会で活躍する研究者や科学技術開発を担う人材等の育成を目指します。大学や企業との連携についても準備を進めてまいりますので、皆様には何卒ご協力頂きますようお願い申し上げます。

終わりに、会員の皆様のご多幸を祈念するとともに、コロナ禍にあっても、本校は未来に向けて力強く前進してまいります。今後とも母校の発展のためにご支援を賜りますようお願い申し上げます。

退任のご挨拶



中村利雄 (17回)

昨年9月末をもって瑞陵会会長を退任いたしました。

8年間にわたる在任中ご支援いただいた顧問、副会長、事務局長、常任幹事を始めとする会員諸兄の皆様

に心から感謝申し上げます。また、山口、吉沢、新井、嶋田の各校長先生には格別のご高配を賜りました。厚く御礼申し上げます。

110周年記念式典の挨拶でも触れましたが、110年の五中、瑞陵の歴史の中間点に当たる55年前に瑞陵高校に入学し、55年後の110周年を同窓会会長として迎えられましたことは大変名誉であり、光栄なことでありました。

とりわけ在校生と同窓生が一体となって式典を盛り上げることができたことは忘れることができません。

特に、昨今全く歌われていなかった瑞陵高校応援歌「ああ若人の血は燃えて」(そのことを知り、大変驚きましたが)が、この式典で吹奏楽部の協力を得て大合唱され、在校生にその存在を認識して頂けたことは望外の喜びでした。

私の入学した頃は、現在耐震補強された感喜堂に顕彰されている著名な諸先輩が存命中であり、我校の伝統を身近に感じるとともに誇りに思っていました。現在でも母校の発展、OB、OGの活躍を眼にすることは嬉しい限りです。また、青春の一時期を同じくした同窓生と色々な機会に出会うとそれまで面識がなかった方もまた、長い間交流が途絶えていた仲間とも直ぐに打ち解け合うことができるのも眼に見えない絆、共通の思い出があるが故であり、同窓生の特典であると思います。私が在職していました職場では高校はおろか大学のOBとも滅多に出会わない環境にありましたので、余計にそのことを痛感しているのかも知れません。

2005年開催の愛知万博の事務総長を務めた際には、瑞陵会総会でPRを兼ねて講演させていただきました。それが契機となり、同窓会活動に参画するようになりましたが、同窓生各位の御支援もあり、愛知万博は成功裡に終わり、21世紀の万博のモデルになりました。今年BIE(博覧会国際事務局)から以前私がBIE bulletinに執筆した万博のイノベーションに関する論稿をアップデートして欲しいとの依頼があり、アップデートされたバージョンが最近発行されたbulletinに掲載されました。

15年を経ても愛知万博は色褪せていないということです。このことからBIEが愛知万博を高く評価していることが窺えます。

私は瑞陵会会長就任以来、青春の一時期の共通の思い出を核として縦(年次を超えた)、横(同期)の絆を拡大、深め、楽しいかつ役にも立つ同窓会活動をモットーに活動したいと申し上げて来ました。そのことは未だ道半ばですが、佐合新会長を初めとする新執行部にはこれを達成して頂けると確信しています。

既に佐合新会長の下、幾つかのプロジェクトが動き出しているようです。大いに楽しみにしています。

OB、OGに卒業なし。今後も引続き同窓会活動に参画、支援して参りますので、よろしく申し上げます。

コロナ禍 同窓生各位の御健勝をお祈りいたします。

親睦ゴルフ会のご報告

ゴルフ会幹事 斎藤純司 (20回)

このゴルフ会は春と秋にそれぞれ1回、年に計2回計画し、実施しています。会報2019で第27回(18年10月24日(水)ベルフラワーC.C.)、第28回(19年4月27日(土)藤岡C.C.)を報告しました。今回は、その後計画されたことについて報告します。

まず、2019年の秋に行われた第29回の様子を報告します。実施月日は、費用面を考慮して10月16日(水)の平日に、ベルフラワーC.C.(瑞浪市)で行いました。当日は瑞陵会の新会長佐合広利さん(20回生)の参加を得て、5回生から32回生と幅広い同窓のメンバー24名(女性4名、男性20名)が集いました。

当日の競技は、参加者それぞれが年令、体力に応じたプレーを楽しむことができるように新ペリアで行いました。コース脇の色づき始めた木々を眺めながら自慢のショットを披露し初秋の一日を満喫しました。順位賞には入りませんでした。ベストグロスに洗練されたプレーで回った初参加の鈴木登貴子さん(32回生)でした。

第29回主な成績

順位	氏名(敬称略)	卒業期
優勝	近藤 正宏	18回生
準優勝	佐合 広利	20回生
3位	伊藤 富三	18回生
5位	竹原 功	16回生
7位	伊藤 康郎	20回生
10位	柴田 達男	21回生



プレー後の懇談会は思い出話で盛り上がる

年が明けて、20年春の第30回は、遠方の同窓も参加できるようにとゴールデンウィークの4月29日(水)、藤岡C.C.で予定しましたが、コロナ禍の下、自粛し中止としました。

秋の会は、それまでにウィズコロナで新しい生活様式が確立されていることを願って、10月7日(水)、ベルフラワーC.C.で開催する予定です。詳細についてのご案内は改めてホームページに掲載し、さらに過去のゴルフ会に参加された方には個別の連絡をする予定です。

令和元年度瑞陵会 記念講演 講演要旨

演題 「偉大なる瑞陵OB 経済学者 都留重人氏の視座と瑞陵魂」

講師 八木 匡氏 (29回)

昭和53年 4月 名古屋大学経済学部経済学科入学

昭和58年 4月 名古屋大学大学院経済学研究科入学

昭和63年 4月 京都大学経済研究所 助手就任

名古屋大学経済学部助教授を経て

現在同志社大学経済学部教授



冒頭、同期の市川貴茂氏より瑞陵時代の八木青年の人となりや思い出を紹介されました。

(1) メインテーマ：瑞陵魂とは

長い歴史の中で、瑞陵高校は数多くの傑出した人材を輩出しました。本日は杉原千畝氏、都留重人氏などの大先輩を題材に、皆さんと一緒に瑞陵魂ということについて少し考えてみたいと思います。

(2) 高校時代・大学時代の瑞陵魂

高校3年の夏を過ぎるまで部活を頑張り、楽しい高校生活でしたが、所属していたホッケー部では高校3年の夏まで部活動をし、6名の部員のうち5名が浪人生活を送りました。これも一つの瑞陵魂なのかもしれません。浪人経験は時間のロスと考える方も多いですが、浪人生活中に一人で勉強（研究）することが身についたことはプラスになりました。受験のための勉強をするというよりは、世界史の本を読んだり、古典や漢文を原文で読んだり、数学の証明問題を解いたりしておりました。名古屋大学に入った時も名古屋大学大学院での研究姿勢にも役に立ったと思います。

(3) 杉原千畝氏の瑞陵魂

杉原氏については資料レベルの知識ですが、これこそ瑞陵魂かなと思うエピソードがあります。もともと医者になることを親に求められ、医学部を受験しましたが、白紙で回答し弁当だけ食べて帰ったとのこと。大学でもパンカラであったようです。その後、外交官になる訳ですが、傲慢で出世主義の塊のような満州国軍人を見て、こんなところに居たくないと思われたようです。権力におもねるのが大嫌いだったようです。ここから「命のビザ」という行動に繋がっていると思われま

(4) 都留重人氏の瑞陵魂

1912年東京都生まれ、名古屋育ち、父都留信郎氏は元東邦ガス社長であります(自伝「いくつもの岐路を回避して」参照)。

熱田五中に入学され御器所に住んでおられたようです。第八高等学校に入り先頭を切って反政府運動をしていたため、学校側から放校とされました。八校を退学となった都留氏は海外に目を向けアメリカのローレンスカレッジへ入学された。ローレンスカレッジの校長先生が都留氏を大変高く評価され、ハーバード大学へ推薦していただき、転入することができました。その後ハーバード大学の優秀賞を受賞し、同級生でただ一人大学院に進み、ハーバード大学の講師となりました。

大学在学中に、木戸幸一（内大臣、文部大臣、厚生大臣、昭和天皇の第1側近）の実弟和田小六東大教授の長女・正子さんと結婚されておられます。

その後第2次世界大戦が勃発し、アメリカにいた都留氏は視野が広く、このままでは日本は戦争は負け、その後の日本が危ないと思われ、戦争後の日本を立て直すため、敗戦の前に捕虜との交換船に乗って帰国されました。木戸幸一氏の口利きで外務省嘱託として就職された後、1943年現一橋大学の嘱託研究員となります。陸軍に徴兵されるも、後3か月で除隊となります。1946年連合国軍最高司令官総司令部経済科学局調査統計課に勤務し、1947年片山内閣の下で経済安定本部総合調整委員会副委員長（次官級待遇）に就任、第一回経済白書『経済実相報告書』を執筆されました。1948年（昭和23年）、東京商科大学（現一橋大学）教授に就任されました。

まだ若干30代半ばにして経済白書を執筆するとか、早すぎる出世に当然、妬み反発などがある訳です。ところが中山伊知郎先生が、都留先生の実力を高く評価していただき、周りの反対を押し切って一橋の教授に迎え入れてくださったようでありま

す。1972年には一橋大学の学長にまでなられておられます。熱田中学での弁論部級友に、西洋史研究者 尾鍋輝彦氏、一橋大学教授でソ連経済研究者野々村一雄氏がおみえになり、同級生に最高裁判事栗本一夫氏、東大社会科学研究所鈴木圭介氏、東京虎の門病院院長浅井一太郎氏がおられたようです。

(5) アメリカの研究者の世界

私の経験から、アメリカで認められることはとても大変なことであることを身をもって知りました。どこのジャーナルに論文を出しているかによって相手の態度が変わりますし、大学院生もやたらきつく、教授の悪口を平気で言ったり、パーティーでも若手の研究者が自分の時間を使うにふさわしい人脈、論文を書くのに役に立つのかで判断したりします。若い研究者達はテニユア（永久雇用権）を獲得するため必死に論文を書かなければならなく、それができないと仕事に就けません。ノーベル賞級の人と口が利けるということは日本人としてなかなか無いことであり、ましてや日本人が当時のアメリカの学会の中で一目置かれる

ということは特別なことであります。都留先生が本当にすごい経済学者であり、日本人では一握りの才能であったことが理解できます。

戦後には、日本の復興を第一人者として進めていかれました。京都大学名誉教授伊東光晴氏は、都留先生が亡くなったとき追悼の言葉として、「現実の中に分け入って、すぐれた直覚で、その社会、その時代のエトスをとらえるということは、限られた少数の人だけに可能なことである」と述べておられます（総合誌『世界』都留重人追悼特集号、2006年6月号）。今の経済学は細分化が極めて進んでおりますので、国際的学会で高い評価を得ようと思うと、重箱の隅をつつくような細かい研究や高度な数学を駆使した数理経済学が主流となっていますが、都留先生の特徴は非常に学際的（研究などがいくつかの学問分野にまたがること）であったことです。技術革新の問題や、市場原理主義の限界を明確にするとか、実証科学としての経済というよりはむしろ規範的な科学として経済学をとらえるというようなことを行っておられます。実践的課題と民主主義を結ぶ政治経済学を確立し、経済というものはあくまでも人々の生活の上に存在していると説いておられます。出来のよい経済学者（世界的なトップジャーナルに多くの論文を載せる学者）はいますが、都留先生は「瑞陵魂」を反映していますから、トップジャーナルに論文が載っていることを人に威張るために研究をしているような人ではなかったと思います。しかも政府に媚びて良い仕事を貰おうと経済学をやっている人でもなく、御用学者にはならなかったようです。体制に対して常に批判的な視点を持っていたが故に極めて高い評価を得られたと考えております。発言内容も大変バラバラなもので生涯平和・軍縮から環境問題まで幅広い啓蒙活動を行っています。公害問題を中心に都市政策などにも力を注ぎ、人間性を軸に「人間尊重」の立場から時代の諸問題に対して分析と提言を積極的に行っておられます。思考スタンスが「労働の人間化」「ライフスタイルへの変革」という考えをすでにお持ちであったと認識しております。

(6) 瑞陵魂とは

都留先生の話しを一つのきっかけとして瑞陵魂を考えてきました。そもそもバンカラ気質がどうして成功に導いたのかを考えてみました。要するに既存概念に対してクエスチョンを持つという視点が大切なのだと思います。そして新しいコンセプトが生まれてくる、それを提示できる人物こそリーダーになれると考えます。実はそこが「瑞陵魂」の重要なところだと考えています。バンカラ気質とは権力におもねないで本質を探究し、独立独歩の意思決定といういろ言えそうですが、一つ言えることが自己決定能力ということが重要なのだと思います。自ら状況を判断し、分析し、観察を行うことにより、他者からの指示にて判断するよりは正確な判断を行う確率が高くなり、成功確率を高めるだけではなく新しい発見に基づく、新しいコンセプトの提示が可能となります。

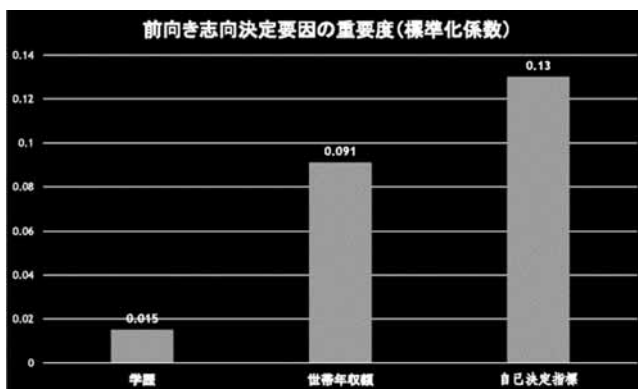
(7) 子供の頃に受けた子育てと成人後の幸福感

八木教授は京都大学時代の上司であった西村和雄特命教授と行った自己決定についての実証研究についても話されました。

子育てについて支援型、厳格型、迎合型、放任型、冷淡型の5つのタイプに分類しました。子供を見守る支援型の子育てを行った家庭において子供はよりうまく成長するという結果を導いています。「子育ての秘訣は見守って応援」という記事が神戸新聞に掲載されておりまして、厳格型というスパルタ教育で育った子供は、実は短期的な成果は出せるが長期的には失敗する可能性を指摘しております。厳格型というのは自己決定とは逆であり、ああしなさい、こうしなさいという指示命令によって動くスパルタ教育を指します。それよりも瑞陵高校のように子供を見守り、失敗しても支援する子育てをすると、子供は自立できるわけです。意思決定が自立的にできるようになると、長期的に幸福感は高まりますし、不安感が減ります。自己決定理論というのは、心理学の中でも議論されていてロチェスター大学の心理学者デシとライアンによって提唱された内的動機理論で、自己決定が動機付け、継続性、満足度において重要であるとされております。進学や就職といった人生における選択においても自己決定の度合いにより幸福度が影響を受けることが示されております。

(8) まとめ

国連による世界幸福度報告書、フランスのスティグリッツ委員会、内閣府などは主観的幸福感を用いて、幸福感の分析を行いました。私の研究結果のグラフを見ていただくと、主観的幸福感を高めるのは、自己決定指標であり、世帯年収額でも学歴でもないことが示されております。



これは、自己決定能力が幸福感を高めるためには重要であることを示しています。

最後に、現在のプロジェクトを紹介させていただきます。スプリングから昨年3月に本を出版しております。アーティストのツトム・ヤマシタ氏や、ユネスコの元アジアディレクターのStephen Hill氏と共著、共編した「The Kyoto Manifesto for Global Economics」でございます。本日、瑞陵魂についてお話をさせていただく機会を与えて下さり、ありがとうございました。感謝申し上げます。

(執筆 29回 石原広道)

2020（令和2）年度 総会資料

⇒p. ○○は本会報の該当ページをご覧ください。

- (1) 役員の改選について ⇒p. 20
- (2) 2019年度会計報告について ⇒p. 21
- (3) 監査報告について（省略）
- (4) 2020年度予算案について ⇒p. 21
- (5) 2020年度瑞陵会総会・講演会について
- (6) 期別幹事の選出について ⇒p. 20
- (7) 諸先輩方の顕彰事業について
 - ①江戸川乱歩旧居跡記念碑建立及び名古屋市市政資料館企画展「江戸川乱歩と名古屋」
 - ②杉原千畝「命のビザ」発給80年、生誕120年顕彰事業
 - ③谷川徹三・岡部金治郎先輩の顕彰パネル（感喜堂）作成
- (8) 「瑞陵会」及び（一財）「瑞陵会基金」の活動報告
- (9) ホームページの刷新・活性化について
- (10) 学校の変化への対応
 - ①定時制閉校に関して
 - ②理数科設置に関して
- (11) 専門委員会報告
 - ① 総会実行委員会
 - ② 親睦委員会
 - ③ 会報委員会
 - ④ 賛助会費募集委員会
- (12) その他

以下、各項目の詳細です。

(5) 2020年度 瑞陵会総会・講演会について

瑞陵会総会、記念講演会、交流会は新型コロナウイルス感染防止の観点から中止にしました。記念講演講師の濱田真輔氏はじめ30回生の皆さんには、来年度の担当をお願いすることになりました。

(6) 期別幹事の選出について

39回生～61回生が抜けております。総会準備のため推薦をお願いします。

(7) 諸先輩方の顕彰事業について

①江戸川乱歩旧居跡記念碑建立及び名古屋市市政資料館企画展「江戸川乱歩と名古屋」

(ア) 江戸川乱歩旧居跡記念碑建立について

1 趣旨

名古屋で育った江戸川乱歩の業績を顕彰するとともに、当地において乱歩が一番長く住んだ旧居跡に記念碑を建立する。文学的要素が比較的少ない愛知・名古屋にとって乱歩を広く県民・市民に伝え、全国に発信し、次世代に継承することは意義深いことである。

（※業績：推理小説、探偵小説というジャンルを日本に確立し、多くの作家に影響を与えた。また自ら「江戸川乱歩賞」を創設し推理小説の発展に寄与した。）

2 組織

- ・江戸川乱歩顕彰会（名古屋稲門クラブ、瑞陵会、栄町商店街振興組合）
- ・設置者：栄町商店街振興組合

3 記念碑除幕式

- (1) 日時 令和2年10月31日（土）を予定（時間未定）
- (2) 場所 栄交差点 南西角付近



※石碑建立費用の寄付についてはp. 9をご覧ください。

<p>近藤産興株式会社</p> <p>代表取締役 近藤 昌三 (瑞10回)</p> <p>〒457-8535 名古屋市南区浜田町1-10 TEL.052-614-2511 FAX.052-611-5826</p>	<p>特許・実用新案・意匠・商標等知財業務 エール国際特許事務所</p> <p>弁理士 間瀬 銈一郎 (瑞11回)</p> <p>〒451-0046 名古屋市西区牛島町5-2 名駅PTKビル8F TEL.052-526-5736 FAX.052-526-5738</p>	<p>洋菓子・銘菓製造販売 名古屋フランスcorp株式会社</p> <p>会 長 服部 幸三 (瑞14回)</p> <p>〒470-0112 愛知県日進市藤枝町西外面16 TEL.0561-73-4600 FAX.0561-75-4545 http://www.nagoyafrance.co.jp</p>
--	---	---

(イ) 企画展「江戸川乱歩と名古屋」の開催について

1 名称及び趣旨

- ・名称：企画展「江戸川乱歩と名古屋」
- ・趣旨：推理小説、探偵小説というジャンルを日本に確立し、多くの作家に影響を与えた江戸川乱歩の業績を顕彰するとともに、中学時代を暮らした名古屋の街と乱歩の文学との深いつながりを広く市民に伝え、次世代に継承する。

2 開催主体

- ・主催：名古屋市市政資料館
- ・後援：江戸川乱歩顕彰会（名古屋稲門クラブ、瑞陵会、栄町商店街振興組合）
- ・協力：立教大学江戸川乱歩記念大衆文化研究センター、鳥羽みなとまち文学館「江戸川乱歩館」、瑞陵高校等

3 開催期間：

令和2年11月1日（日）～11月15日（日）

4 開催場所：名古屋市市政資料館

（名古屋市東区白壁1-3）

5 企画内容

(1) 展示（予定）

- ・旧江戸川乱歩邸（立教大学江戸川乱歩記念大衆文化研究センター）の資料
- ・鳥羽みなとまち文学館「江戸川乱歩館」の資料
- ・市政資料館、瑞陵高校等の資料

(2) 講演会

11月1日（日）午前10時～12時30分（予定）

- ・平井憲太郎氏（江戸川乱歩のお孫様）
「祖父 江戸川乱歩を語る」（仮称）
- ・小松史生子氏（金城学院大学文学部教授）
「乱歩と名古屋」（仮称）
- ・平井氏、小松氏対談（講演各1時間、対談30分）

②杉原千畝「命のビザ」発給80年、生誕120年顕彰行事

1 杉原千畝の作文「現代語訳コンテスト」について

- ・瑞陵高校と瑞陵高校生徒会の企画を同窓会が後援する形式で行う⇒授業時間不足により本年度は中止

社 會

五 丙 杉 原 千 畝

社に於ける學問たるや、算術に於ける加減乗除の如し。社會の萬事學問によりて解決せらるゝの言を待たざるご等しく、算術の諸問題此の四則を離れて計算すべからざるや論無し。然れども算術の難問に苦しむ者の、何人も四則を詳知せざるは無きが如く、社會の解釋に悩み、人生の不如意に泣く者誰か學問なからんや。世上勤學の士請ふ四則以外大いに思ふ所あれ。

五中の「瑞穂」掲載の杉原千畝の作文

2 杉原千畝「命のビザ」発給80年事業（名古屋市事業）への協力について

(1) 事業の内容、内容、スケジュール等

- ・目的：杉原千畝の「勇気ある人道的行為を行った功績」と「名古屋とのゆかり」を市民に伝え、人道主義・博愛精神を学ぶことで「他人への思いやり」「命の重み」を次の世代に継承する。
- ・事業内容
 - a 顕彰行事の実施（10月に名フィルによる演奏会と解説を行う予定）
 - b 五中遺構の活用（瑞穂ヶ丘中学校に残る旧制第五中学校の遺構【車寄せ・階段】の周知、学生時代の千畝像の設置）
 - c まちなかPR（名駅PRスペースにパネル・大型ボード等を展示）
 - d 各区連携（名古屋市の4区でパネル巡回展）
- ・スケジュール：9月～12月（遺構の活用は翌年3月まで）

(2) 瑞陵会への協力要請

杉原千畝「命のビザ」発給80年事業に係る寄付の協力について p.9

<p>滝山獣医科病院</p> <p>獣医学博士 滝 山 昭 (瑞16回)</p> <p>〒458-0835 名古屋市緑区鳴海町上汐田220 TEL.052-621-0179 FAX.052-621-2020</p>	<p>株式会社 東海流通システム</p> <p>代表取締役 青 木 偉 晃 (瑞17回)</p> <p>〒498-0021 愛知県弥富市綱浦町末新田21-67 TEL.0567-55-9121 FAX.0567-67-2500</p>	<p>つばめ自動車株式会社</p> <p>代表取締役社長 天 野 清 美 (瑞17回)</p> <p>〒460-0008 名古屋市中区栄一丁目21番17号 TEL.052-201-8031(代) FAX.052-201-8036 http://www.tsubame-taxi.or.jp</p>
---	---	--

(3) 瑞陵会の対応

・事業の目的、内容は杉原千畝先輩の顕彰を行うものであり、旧五中の遺構の周知、学生時代の杉原千畝像の設置など、110周年事業の継続的取組の一つとして協力する。

銅像制作費用の寄付に関しては次ページをご覧ください。

③ 谷川徹三・岡部金治郎先輩の顕彰パネル

乱歩氏、千畝氏のものと同じ色調で、2/3程度の大きさで考える。

2020年年末には設置できるように準備する。

(8) 「瑞陵会」及び「(一財)瑞陵会基金」の活動報告

①愛知県の中학생向け「杉原千畝副読本」作成に資料提供などで協力した。

②コスモサイエンスコースの現役生徒OBとの集いに協力した。

(9) ホームページの刷新とホームページを使っの瑞陵会活動の活性化

只今、HPの内容を整理中(担当21回生 田口文男氏)情報の提供、(行事の案内・報告)周知の必要容量の増大とプロバイダーの変更等を検討する。

(10) 学校の変化への対応

①平成31年春で定時制募集中止→2022年3月卒業式で閉校

閉校式の在り方、記念誌の発行等の準備

②理数科設置への準備

(普通科の中のコスモサイエンスコースを発展させ、独立した理数科として設置する)

現在カリキュラム検討中、教育課程の提出は2020年秋→感喜堂等の学習環境整備等で応援

(11) 専門委員会報告

①総会実行委員会

総会・講演会・交流会は新型コロナ感染防止のため

開催中止

②親睦委員会

親睦ゴルフ 4月は中止、秋季は10月7日開催予定
秋の感喜堂行事 中止

③会報委員会 瑞陵会報2020概要

④賛助会費募集委員会

a 郵便局の払込用紙に加え、コンビニ払の用紙も加えることを考えてみたい。

杉原千畝と20世紀の日本・世界・愛知

2020年3月、愛知県教育委員会は「杉原千畝の行い、生涯を通して激動の20世紀の歴史を深く学んでほしい」という願いを込めて中學生向け歴史副読本『杉原千畝と20世紀の日本・世界・愛知』(A4判48ページ)を制作し、県内の国公私立中学校(439校、配布数72,059部、中學生全員分)、県内の公立図書館(108か所)に配布した。残念ながら市販はされていないので、図書館でご覧ください。本校では1年生のクラスに1冊配置してある。

また、センポ・スギハラ・メモリアルの構想から完成記念式典、その後の見学者との交流までをまとめた、「杉原千畝広場 センポ・スギハラ・メモリアル ガイドブック ～メイキングストーリー～」(A4判46ページ発行部数1,000部)も作成し、県内の公立図書館(108か所)に配布した。



<p>(公財)全国中小企業振興機関協会会長 イベント学会会長</p> <p style="text-align: center; font-size: 1.2em;">中 村 利 雄</p> <p style="text-align: center;">(瑞17回)</p> <p>〒104-0033 東京都中央区新川2-1-9</p>	<p style="font-size: 1.2em;">渡辺歯科</p> <p style="text-align: center; font-size: 1.2em;">院 長 渡 辺 龍 彦</p> <p style="text-align: center;">(瑞18回)</p> <p>〒470-1151 豊明市前後町善江1720-8 TEL.0562-97-7314 FAX.0562-97-8214 http://www.watanabesika.net</p>	<p style="font-size: 1.2em;">アワタ 栗田敬八税理士事務所</p> <p style="text-align: center; font-size: 1.2em;">所 長 栗 田 敬 八</p> <p style="text-align: center;">(瑞19回)</p> <p>〒454-0912 名古屋市中川区野田1-193 TEL.052-351-0251 FAX.052-352-8268</p>
--	--	--

募金のご案内

五中-瑞陵OBに縁のあるものです。ご協力いただけると幸いです。

1 江戸川乱歩旧居跡の記念碑建立

- ①目的：五中1回生にして日本の推理小説の草分けである乱歩は、多感な少年時代を名古屋の栄地区で過ごした。その旧居跡近くの栄交差点に記念碑を建立することで、乱歩の業績を広く知らしめる。
- ②主催者：江戸川乱歩を顕彰する会
(名古屋稲門クラブ、瑞陵会、栄町商店街振興組合)
- ③目標金額：300万円
- ④建設時期：本年10月31日(土)
- ⑤建設場所：広小路通と大津通の栄3丁目交差点歩道
- ⑥募金方法 (一口 5,000円から)
 - a 同封の賛助会費用紙で寄付をする。(事務局から顕彰会に渡します)
払込用紙の空欄に「乱歩石碑、〇〇円」とお書きください。
※純粋な寄付です。石碑のQRコードに名前を記載させて頂きますが、返礼品はありませんし、税金の控除対象にもなりません。
 - b クラウドファンディングで寄付をする。
9月から2カ月募集する予定です。8月末に「キャンプファイヤー」というクラウドファンディングの専門サイトをご覧ください。
※乱歩記念切手、クリアファイル、お酒等の返礼品を準備しております。

2 名古屋市杉原千畝「命のビザ」

発給80年・生誕120年顕彰事業

- ①目的：杉原千畝の「勇気ある人道的行為」と「名古屋とのゆかり」を市民に伝え、氏の人道主義・博愛精神を学ぶことで「他人への思いやり」「命の重み」を次世代に継承する。
- ②事業内容：名古屋市立瑞穂ヶ丘中学校正面玄関前には「五中遺構の車寄せ」が残っている。これを活かした形で千畝氏の少年時代の像を設置する。
- ③予算：経費約1千万円の内、市民の寄付で200万円を予定
- ④募金方法 (一口 2,000円から)
 - a 名古屋市へのふるさと納税で寄付をする。
(8月3日～9月30日)
名古屋市のプロジェクトページにアクセスし、手続きをする。
<https://www.furusato-tax.jp/gcf/904>

- b 納付書で寄付をする(8月3日～11月30日)
名古屋市総務局総合調整室に連絡し「寄付金申出書」を送ってもらう→必要事項を記入し返送し、金融機関で入金する。
※市総務局総合調整室
電話 052-972-2223 ファクス 052-972-4112
メール a2221@somu.city.nagoya.lg.jp
※a bともに税金の控除対象になります。

3 杉原千畝Sempo Museum

(中央区八重洲2-7-9相模ビル2F)

昨年の会報でご案内した東京駅八重洲口の近くにある小さなミュージアムです。どこの博物館・美術館も同様ですが、新型コロナウイルスのため苦勞しております。昨年に引き続きご支援をいただけると幸いです。(手数料自己負担です)
個人一口 3,000円
郵便振替：口座記号・番号00250-0-83132
口座名義 特定非営利活動法人 杉原千畝命のビザ



・リトアニアの杉原ハウス

2020年5月1日付中日新聞(夕刊)で渡航者激減のためリトアニア・カウナスの旧領事館の経営が危うくなっているとの記事が載りました。
寄付を希望される方は「杉原記念館 リトアニア」で検索してみてください。



廣瀬清市瑞陵高校奨学事業で杉原ハウス(旧領事館)を訪れた瑞陵生(2006.7)

<p>司法書士グリーンフォーラム</p> <p>司法書士 林 勝 博 (瑞19回)</p> <p>〒458-0036 名古屋市緑区六田一丁目200番地 TEL.052-624-1885 FAX.052-621-1384</p>	<p>プレス金型、専用機の製造販売 ムツミ工業株式会社</p> <p>代表取締役 近 藤 哲 典 (瑞22回)</p> <p>〒462-0866 名古屋市北区瑞璃光町5-1 TEL.052-913-2111 FAX.052-913-2100</p>	<p>生命保険・損害保険代理店 株式会社エイチ・ケイ・コーポレーション</p> <p>代表取締役 加 藤 秀 雄 社 長 (瑞25回)</p> <p>〒352-0006 埼玉県新座市新座1-13-19 TEL.048-485-1483 FAX.048-479-7701 Email katochan@df6.so-net.ne.jp</p>
--	---	---

立松誠信さんからの激励

一定時制課程令和元年度 「卒業生を送る会」にお招きしてー

定時制課程 教頭 堀田 浩 史

瑞陵会入会式そして卒業証書授与式を目前に控えた令和2年2月26日(水)、定時制課程恒例の「卒業生を送る会」に今年度は本課程黎明期に御卒業の、立松誠信さん(定5回)を生徒の皆さんに紹介することができました。嶋田校長からの御紹介の後、給食も御一緒され、戦後間もない当時とは様変わりした豪華なメニューに驚かれていました。

立松さんは名古屋市中川区のお生まれで、昭和28年3月に本課程を卒業されました。日本車両製造株式会社勤務などを経て、愛知県議会議員を長年にわたりお勤めになりました。その御活躍を記憶されている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。現在は千葉県柏市にお住まいですが、近年はセンボ・スギハラ・メモリアル記念行事にもお越しいただくなど帰名の折には必ずと言っていいほど本校定時制課程にお立ち寄りくださっています。

昨年7月に本校定時制課程の生徒募集停止(令和5年3月閉課程)が報じられた際、現在の定時制在校生の心境を強く慮られ即座に御連絡をいただいたほどです。こうした経緯もあり、卒業を間近に控えた生徒や本課程最後となる

在校生を前に激励のお言葉をいただきたいとのお願いを差し上げると、即座に快諾をいただくことができました。

当日の御講話では、昭和26年東京開催の「全国定時制弁論大会(現生活体験発表会全国大会の前身)」に愛知県代表として出場し優勝を勝ち取った経験、また現在とは比較にならないほど低カロリーではあったけれど「温かい給食」の記憶、当時の生徒数の多さ(2~4学級/1学年)と想像以上に活気に満ちた教室の雰囲気について語られました(多くの名物先生も定時制の教壇に立っておられたとのこと)。その後の国会議員秘書時代の珍しい体験談なども披露され、「自らの人生を思うように切り開いていくことの大切さ」を情熱的に説かれました。

間もなく「卒寿」とは思えないほどかくしゃくとした大先輩、生徒にとっては「おじいちゃん」以上の年の差先輩ですが、気さくに質問したり一緒に写真撮影に取まったりと、先輩後輩の交流を楽しんでいるようでした。

そうした光景を眺めながら、在校生には多くの先輩方に恥じない高校生活を送ってほしい、そして瑞定に残された閉課程までの三年間を輝かしい思い出でいっぱいにしてほしいと切に願わずにはられませんでした。

このような機会をいただき、立松誠信さん、ありがとうございました。



太子歯科医院

院長 小森 敦 夫

(瑞33回)

〒458-0823 名古屋市緑区太子2-190
TEL.052-623-1184 FAX.052-623-0799
<http://www.taishi-dental.com/>

施設管理支援・情報管理支援・文化財事業 ナカシャクリエイテブ株式会社

代表取締役社長 山 口 寛

(瑞37回)

早川昭博(瑞39回) 石原 綾(瑞60回)
〒468-8533 名古屋市天白区井の森町205
TEL.052-895-1131 FAX.052-895-1844
<http://www.nakasha.co.jp>

NC工作機械・工具の総合商社 株式会社 新栄商会

代表取締役社長 時 津 達 也

(瑞44回)

〒468-0056 名古屋市天白区島田2-516
TEL.052-801-1222(代) FAX.052-803-1321
<http://www.e-net-shinei.co.jp>

今、なぜ「愛知親善人形の会」設立か？

— シドニー・ギューリック ～ 渋沢栄一 ～

杉原千畝を結ぶもの —

成 田 重 忠 (10回)

私は戦争の焼け跡の中で育ちました。父は南方を転戦しましたが、運良く家族全員生き残りました。青春は高度成長期を迎え、安保闘争など流動的な社会でした。瑞陵の思い出は先生、同級生、柔道部の面々、ポプラ並木など尽きません。英文科を志ざし、英語教員になり、退職後は米・中国の大学で日本語教師として数年を過ごしました。そのせいか母校の杉原千畝顕彰に共感し、世界平和の大切さは痛感しています。居住している幸田町に残るほぼ100年前の「親善人形」に出会い、表記の活動をする事になり、本稿を掲載して頂けることを感謝しています。

まず「親善人形」とは何か。1927年(昭和2年)にアメリカより日本に贈られた約12,000体の人形。当時流行していた童謡「青い目の人形」とイメージが重なって流布しました。シドニー・ギューリック(米宣教師、同志社大学で教鞭もとり、渋沢栄一と出会う)によって始められた民間国際交流活動。発端は1924年アメリカで排日移民法が制定されたことにあります。彼は帰国後、猛反対しましたが敗れ、次世代にこの運動を託そうとアメリカ全土の学童を含む慈善活動等を展開し、人形たちを日本に贈りました。それらは渋沢栄一の尽力で全国の尋常小学校中心に配布され、各地で歓迎されました。又各県を代表する答礼人形58体もアメリカへ贈られました。その記録は各地の人形所蔵校や渋沢史料館(東京・北区飛鳥山公園)に残っています。渋沢栄一の足跡が見直され、まもなく新紙幣の顔になり、NHK大河ドラマになることも意義深いことと考えます。

ついに、1941年にアメリカとも戦争状態に入ります。敵国人形は公開処分されたり、戦災で焼失したりして、この人形たちは姿を消しました。そして終戦ほぼ30年を経た1973年テレビ放映され、後にNHK出版協会による「歴史への招待」で詳しく紹介されて、深い眠りから覚めました。愛知で10体(写真下・幸田町調査報告書より)、全国で337体発見され、今も当時の人の心を映しています。



時々価値観が豹変する社会で人が共存していくために、普遍的な視点は何か。近年、戦時中のパスポート作成でユダヤ難民を救った先輩・杉原千畝の取った行動が評価され、愛知県により「センポ・スギハラ・メモリアル」が母校瑞陵の前に設置されました。親善人形はまさに同じ価値観を持っています。残念ながら世界の各国が、いまだ「国益中心」で動き、私たちはつい納得しがちですが、高度テクノロジーの発達、地球環境を考えると、自国のみが繁栄し、平和であることができるのでしょうか。

このような状況下で、この民間国際親善交流の理念を、世界平和のために掘り起こすべきです。この運動は7年後には100周年になり、1986年から現在まで約30年間、創始者シドニー・ギューリック博士の孫のデニー・ギューリック氏(ギューリック三世)も祖父の遺志を継いで、新しい人形(新・青い目の人形)を送り続けて、日本を訪問し、日米親善に大きく貢献しています。2012年には「ミス愛知」(答礼人形・写真右アラン・スコット・ペイト氏所蔵)もアメリカで発見され、その里帰り展も愛知県で2017年に開催されました。残っている人形たちの劣化を考えると、文化財として保護、活用に取り組むべき時と考えます。この度、県下25名の賛同者による設立準備会の活動の結果、下記のように魅力ある記念イベントと共に設立することになりました。更に同窓生の皆さんと活動を共にできれば、先輩・杉原千畝のスピリットにも繋がりが嬉しいことです。会員登録は下記連絡先までご一報ください。



「愛知親善人形の会」設立総会ご案内

- 日時 11月29日(日) 13:30開演16:00終了
- 会場 中統ビル4F会議室 名古屋市中区栄4-16-29
地下鉄名城線、矢場駅下車①出口北へ3分
東山線 栄駅下車⑬出口南へ5分
久屋大通り沿い日経新聞社南隣り陶板壁のビルです。
- 内容 ・総会
 - ・記念コンサート
朗読 池上あきこ・琴 笹野大栄・笛 はだひかる
(宗次ホール、愛知トリエンナーレなどで活躍中の息の合った和楽器グループの面々です。)
 - ・記念講演 深草正博
皇学館大学教育学部 特命教授
(社会、国際理解、環境教育関係などの著書多数)
演題「福沢諭吉から渋沢栄一へ
～その文明観の比較から～」
 - ・写真等の展示 親善人形(青い眼の人形)の
93年間の交流歴史を説明
- 入場無料・予約不要(会場は100名前後入場可能)

(新型コロナの状況で予定変更の可能性はあります。)

★連絡先 444-0115 幸田町萩樫田67 成田重忠

電話・ファックス 0564-62-0185

我らが沖縄戦

寺 島 貴 (本校教諭 32回)
陸上競技部顧問

令和元年度(2019)の全国高校総体 秩父宮賜杯第72回全国高等学校陸上競技対校選手権大会は南九州地区沖縄市で行われた。

6月の東海高校総体の予選を勝ち抜いた5種目8名(男子7名 女子1名)が沖縄の地を踏んだわけである。大会は8月4日から5日間沖縄県総合運動公園陸上競技場にて開催された。

幸いにも我が瑞陵高校陸上競技部は毎日出場者がいて、選手は練習、競技、応援と規則正しい生活を繰り返した。

1日目(8月2日)

中部国際空港から那覇空港へ移動。沖縄市入りは豪雨の夜であった。

2日目

割り当てられたテント設営場所、休憩する体育館の確認。そして調整練習。テント設営場所は予想以上に高温多湿、強風で設営は断念した。

平成27年度の和歌山大会の時も5種目(男子9名女子1名)出場であったが、この時も連日の猛暑で最終種目の1600mリレー出場の頃には選手がかなり疲労困憊状況であった。

そこで今大会のポイントは選手のコンディショニングにあると考えた私は約1年前から宿泊施設(場所は沖縄市配宿センターより7月中旬に通知され、その指定場所は断れない。)とは別に競技場近くに選手が休憩できる施設を準備する必要があると考えていた。合宿等でお世話になっている業者を通して近隣の2LDKのウイークリーマンションを予約。(沖縄ではこの手のマンション、レンタカーなどは手軽に予約できる。)休憩のベース基地、栄養士の調理場所、作戦会議場として多用できた。

もう一つは選手の毎日の食事である。事前に確認して宿泊のホテルは朝夕の2食付き(バイキング形式)である。そこで毎日の昼食をできるだけ愛知県で行われる試合のように母親の作る弁当を再現できないかと考えた。コンビニ弁当が悪いわけではないが約1週間の昼食がそれでは調子を整えられない。このモデルとなったのは日本代表マラソンオリンピック代表チームが選手村以外にコンドミニアムを借りて、栄養士と調理人が昼食を作り成功した事例である。

我が陸上競技部では試合の食事、強化期の食事などプロの管理栄養士に頼んで食育、栄養指導を行っている。この指導を学生時代から担当し、今回のインターハイにも帯同したのは本校OGで自身も平成22年度の沖縄総体で400H、1600mリレーに出場した、小笠原(旧姓菅田)真知である。小笠原氏は食物科OGで川崎市に在住。ラグビーチームの食事管理、調理、アスリート向けの料理教室、実業団ソフトボールチームの長期にわたる帯同、栄養指導などを行うまさにプロの管理栄養士である。

夕方小笠原氏合流。



小笠原氏

3日目(8月4日)大会1日目 男子400m予選

竹内彰基 48秒59 1組5位予選落ち 体調は万全であったが自己5番目の記録で準決勝進出ならず。(早稲田大学スポーツ科学部在学中)



この日の昼食

小笠原氏は竹内のリクエストを再現。遠征出発前に選手の母親とLINEで連絡を取り、選手の好き嫌い、試合時の食事などを事前に調査していた。(ほとんど全員の保護者と連絡を取る。)

4日目 大会2日目 男子400mハードル予選

水谷冠太 53秒12 4組2位 翌日の準決勝へ進出 3週間前の愛知県選手権においてベスト記録を更新。絶好調で沖縄入りし、食欲も旺盛。

男子やり投げ予選、決勝 堤洗太郎 12時30分からの予選 1投目60m92 ランキング2位で優勝候補として沖縄入りしたが極度の緊張からか、水あたりか朝から下痢と嘔吐で脱水状態。ほとんどウオームアップなしで予選に出場。1投目で通過。

休憩所に戻りゼリーなどで少し食事をしたが、体調は戻らず。太田先生の指示でまた、ノーアップで決勝に臨む。決勝17時15分開始。1、2投目まったくタイミングが合わず、参加12名中12位。3投目、意を決して投げられたネット製のやりは60m97。ぎりぎりの8番目で決勝トップ8入り。応援の生徒はあまりの劇的展開に泣き出す生徒もいた。5投目に61m77に記録を伸ばし最終的には7位のフィニッシュとなった。これこそ冷や汗。薄氷を踏む試合展開であった。

この入賞が評価されて10月の茨城国体に県代表として選出され第2位に入賞した。(筑波大学体育専門学群在学中)
5日目 大会3日目 男子400mハードル準決勝 女子走り幅跳び予選 水谷 冠太 53秒51 4組4着準決勝敗退(金沢大学理工学部在学中)

木村 莉子 5m69 予選2組14位敗退(愛知教育大学初等教育保健体育専修在学中)

いつも冷静沈着、女子キャプテンの木村も絶好調で試合に臨めたが、1、2回目のわずかなファールで3回目に自己2番目の記録を跳躍したが無念。

6日目 大会4日目 男子1600mリレー予選

大崎 水谷 上杉 竹内 3分15秒38 7組1着 準決勝進出 この日からリレーの予選が始まる。全部で9組ある予選も17時5分が1組のスタートであるから瑞陵の出場する7組はもう18時になろうとする。折しも台風8号、9号の影響により激しい海からの風。スコール。沖縄インターハイは我々の予想通りの様相になってきた。

これも9年前の沖縄総体の経験を生かし、強風、特に向かい風で競技する対策を東海大会が終了してから積極的にとりくんだ。名古屋大学南側斜面の登坂走などをいれて功を奏した。(木陰があって涼しくかつ300mとれる。)

この予選の日もマンションでゆっくり昼食。テレビ観戦。昼寝。帯同トレーナー(わかな治療院勤務 松田氏)による施術とじっくり体を整えて15時半くらいから徒歩で競技場へ移動した。予選1位通過でチームのテンションは一気に最高潮に達した。このころあたりから4年前の和歌山大会と明らかに違う現象が現れてきた。チームの皆が大会4日目(滞在は6日目)にもかかわらず非常に元気で表情が明るいことだ。食欲は相変わらず旺盛。理由は歴然。消耗の少ないマンションでの休憩。工夫された昼食。そしてチームZのベンチワークの良さだろう。

7日目 大会最終日 男子1600mリレー準決勝(4組1着+4) 大崎・水谷・上杉・竹内 3分15秒42 1組1着 決勝進出

準決勝は12時25分から。この日は早めに昼食をとり(うどん、麩チャンプル)ミーティング。このタイミングで私が皆に提案。準決勝が通過できたら表彰台はほぼ確定だ。そこで名南予選から、県大会、東海大会と予選ラウンドを走ってくれた控えの永田を決勝で上杉に代えて投入したい。長いリハビリ生活をずっと我慢をして地道に準備をしていた永田に花を持たせたいと提案。スタッフ、選手一同、皆が同意してくれた。準決勝の合言葉は「智也(永田)を決勝に」

その準決勝は同じ名南地区からのライバル「王者 中京大中京」が同組に。仲良しのライバル同士だが、特に瑞陵はスポーツエリートの中京を尊敬している。インターハイで中京ともう一度戦いたいとの希望が叶った。(準決勝後までの直接対戦成績は2勝2敗)



決勝(8チーム)第7位

大崎・水谷・永田・竹内 3分19秒11

折しも暴風の中での決勝であった。優勝を目指している中京大中京と瑞陵の差は歴然であった。(中京第2位)

しかし70年を超える高体連の歴史の中で昭和56年の小坂井高校の1600mリレー第6位の入賞以来、実に38年ぶりの愛知県公立高校のリレー種目入賞であった。公立高校の選手層では、ましてやインターハイのハードなスケジュールの中では決勝進出は不可能と言われた常識に敢然と挑んだ瑞陵健児の心意気を全国の皆さんに評価していただけた瞬間だと思う。平成元年から瑞陵高校の指導に携わっておられる太田良平先生の目にも光るものが。

8日目 台風の影響で出発は予定より遅れたが那覇空港発、中部国際空港に無事、夕方着。空港にてミーティング後解散。

こうして沖縄インターハイの遠征は大成功にて終了した。多くの公立高校陸上競技指導者が夢見ていたリレー競技での入賞が叶ったこと。個人種目での入賞。活躍。どれをとっても選手の不断の努力とご家庭の協力体制が整わなければ達成は不可能であった。加えて瑞陵会をはじめとする同窓会、陸上競技部OB会の皆様のご支援、応援なくしてはこの成功はあり得なかった。

ここに関係の皆様深くお礼を申し上げる次第でございます。ありがとうございました。今後とも瑞陵高校陸上競技部をよろしくお願いいたします。

※瑞陵会は、3名分の派遣費を補助した。



参加選手たち(写真は東海総体より)

水泳部は嬉しい、楽しい、凄い

澤 田 耕 一 (21回)

X年12月30日、

Y年12月29日、…年末の大掃除が終わって、タオルを持って風呂場へ向かった。疲れをとるためでも汚れをとるためでもなかった。迫りくる「寒中水泳」のために自宅のゴEMON風呂になみなみと水を張り、静かに身体を沈めるためであった。(何とばかなことを)

明けて元旦。少し早めに学校集合。生徒会(キャプテン会議?)が企画した「初詣マラソン」。学校から熱田神宮本殿まで本当に走っていった。竹刀やバット、ラケット、道着…。ここぞとばかりのミニスカート姿も。体育のジャージ姿の「文化部」の生徒も。旗がゆれる。初詣の人々でごった返す正殿の一番前まで集団は進みお札や硬貨を目の前にして覚悟を決めるかのように手を合わせた。学校に戻った。人の群れは自然とプールサイドに向かった。

「早くやれよ、水泳部！」

「待ってました！」

もはや逃げることはできない。早く脱げ、今日はロープをはらなくていいから、頭が痛い、風邪をひいている、早く着がえる。…

声は飛び交うが一向に着替えがすすまない。

「オーイ、出てこい、水泳部！」

プールのスタンドに陣取る生徒から声がかかる。運動場では火をおこしている。

「後でぜんざいが出るぞ！」

その時、事件はおきた。

『あんたたち、なにやっとなるの?はやく出てらっしゃいっ!やらなきゃだめ』

聞き慣れた二年制女子先輩からの言葉だった。ドボン、ビシャツ、バシャツ、ドボドボバシバシ、鈍い水音で女子が泳ぎはじめている。ターンをして戻ってきた先輩(50m泳いだ)は『まだ泳いでないの?水泳部でしょ?やりなさい!はやく!はやく!』

バシバシ、水面をたたき、先輩の絶叫は続いた。男どもは、まだ、ふるえていた。口びるの色がかわっている。(25mですぐあがる)

意を決して泳ぎはじめた。苦しいと胸をおさえて止まる者も。命がけで25m泳いだ。あの女子部員はまだ泳いでいる。100m、150m、200m、300m、…。(数年経ってある事情から行事は中止となった)

『気もちよかったわ』 上気した頬で語る先輩の肌はピンクに染まり湯気が立ちのぼる。すごい。やっぱり〇〇〇は×××。五十年経って今日の情勢の下では、伏字とするしかない。♪ そうだ これが青春だあ～

さて、その水泳部にはOB会というものがある。平成27年(2015)の名簿をくると、昭和33年(1958)に始まり歴代顧問まで約700名が連なっている。一年も欠けることなく63年間。

その昔、小・中・高にはプールがない学校が多数であった。夏休みに「林間学校」と称して野間、新舞子海岸に何日も出かけていたようだ。学校にプールが建設されるようになり水泳部活動がさかんになった。プールがなくても水泳部は存在し近くの大学(八高のことか)のプールを借り練習をしていた…とは大先輩のお言葉である。(紙幅がないので、歴代の光り輝く大会成績は割愛させていただきます。)

お正月と八月の年2回、OB会は開かれている。在名の大学生が幹事となり往復ハガキ・メールでいねいに告知している。70代、60、50、40、30、20代…大学一年生。年齢ギャップは大きく初対面の人ももちろんいる。

「未成年はウーロン茶・大人はビール」で乾杯すれば、たちまちプールの香り、カルキの匂いに包まれる。きびしい練習、冬期の陸上トレーニングのきつさ、汗をかいて泳いだ合宿時練習……。思い出話は尽きない。

大学生、就職、社会人、結婚、子育て、… 病気、介護… 人生のステージは様々に。

「そうだ、OB会、行ってみよう」

ぶらりと懐かしく訪れるOBもいる。夏には母校のプールで現役と競って泳いでいる。今年も連れ立ってOB会に参加する姿がみられるでしょう。瑞水63年 輝く700の滴



初詣マラソン(熱田神宮にて)



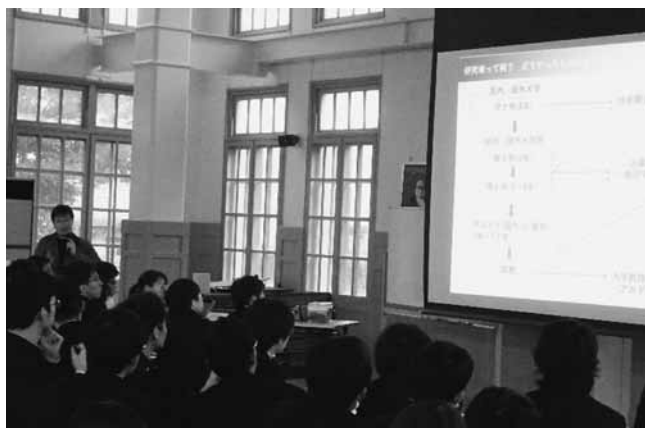
応援歌斉唱

コスモサイエンスコース 現役生と卒業生の集い

山崎 辰雄 (本校教諭)
町田 瑠璃子 (本校教諭 55回)
西 森 俊之 (本校教諭)

それは、小雨降る少し肌寒い2019年11月22日、瑞陵高校
感喜堂でおこなわれた。

瑞陵高校コスモサイエンスコースはその創設以来12年目
にあたる。今回のこの会は、今年3月にコスモサイエンス
コース卒業10回生を送り出した節目に企画されたものであ
る。平日11時30分から15時30分という時間帯にもかかわらず、保護者と卒業生合わせて50人を越える参加をいただいた。この集いは3部構成で行われた。第1部は現役1年2年が学習の成果を発表し合った。第2部ではコスモサイエンスコース卒業1回生の講演、第3部では外部講師を招いて基調講演が行われた。



【第1部：現役1、2年生による学習体験発表会】

生徒の発表会形態をとっていたが、その内容はコスモの
これまでの活動の評価の場としても良質なものであった。
生徒が自分たちの活動を評価し発信することは大切なこと
であるが、3学年合同で行う機会は今までほとんどなかった。
今回は生徒自身が自らのキャリアアップを念頭に置き、
自然にカリキュラムとその活動を自己評価したところに大
きな意義がある。

その総括は「私たちがコスモで学んだこと」という表現
で生徒全体にフィードバックされた。教員が主導して行う
生徒アンケートでそのカリキュラムの内容や意義をどう生徒
が捉えたかを把握することは今までも行われてきた。今回
はそれを自然発生的に生徒がプレゼンし、コースの生徒
が全員で聞き、全員で考える機会となったことに大きな意
義を感じる。なぜなら今回の授業に参加した全員の意欲・
熱量が直接伝わってきたからである。

発表の中に、「自然科学の散歩道」という言葉を生徒が用
いる機会が複数回あった。この言葉は、12年目を迎える現
在の瑞陵コスモサイエンスコースにおけるコンセプトであ

り、理念の一つでもある。中学生向け学校説明会等で教員
がこの言葉を用いている場面はよくあるが、生徒が「自然
科学の散歩道」という言葉をプレゼンの中に選んで自己評
価に使った、というのは感慨深いものであった。

さらには、それを保護者や卒業生が見て質問や評価をし、
アドバイスをしていただいた、ということが革新的なマネ
ジメントケースであったと思われる。実習の注意点、その
視点の向け方に対するアドバイス、カリキュラムの流れに
対する意見を授業者、教員、評価者（保護者と卒業生）が
リアルタイムに共有する瞬間であった。生徒の感想に対し
て、国際公務員の方が「英語を学ぶことの重要性」につ
いて話されると、卒業生から苦手克服のアドバイスや、保
護者から実社会での現状についての意見が出され、生徒全
員が熱心に聞いていた。発表者が時間後に、意見をいただ
いた方と直接議論している姿が印象的であった。

- ・1年コスモは、実習で出会う実体験の新鮮な感動、考察し自分の考えを共有することの大切さ、実習で学習したことをどのように今後につなげるかを真剣に考え模索している様子がよく伝わる発表であった。
- ・2年コスモは、「失敗」を切り口にした。問題解決の過程で考察が深まっていく様子や、ペアワークでの意見交換を突破口にしたこと、全体学習で他のグループから自分にはないアイデアを知ったときの感動など、長期にわたる課題解決学習で起こるダイナミックな知の変化を感じ取れる発表であった。その反省としてスケジュール管理の重要性まで言及していた。



それぞれに保護者、卒業生から感想やアドバイスをいた
だいた。実際に今回授業に参加した生徒たちが感じ取った
ことを、彼等の生の言葉で保護者や卒業生が聞く機会は希
少と思われる。そこに疑問、意見、感想など生徒たちと直
接やり取りできる場面が加わることで、生徒たちに大きな
自信とこれからの学びの展望を持ってもらうことができた
のではないだろうか。

(山崎)

【第2部：コスモ卒業1回生による講演】

第2部は、コスモサイエンスコース一期生で、大鵬薬品工業株式会社で研究職に就いている千賀匠悟さんに講演をしていただいた。いつも外部講師で来ていただく大学の先生と違い、比較的年齢の近い先輩の講演とあって、現役コスモ生もリラックスした雰囲気聞いていた。テーマは「どのようにしてプロの研究者になるのか」ということで、研究者志望も多いコスモ生にはとても興味のある話であった。

千賀さんは、瑞陵高校のコスモサイエンスコースを卒業後、信州大学に進学され、そのまま同大学の大学院修士課程、博士課程へと進まれ、2019年4月より大鵬薬品工業にお勤めの社会人1年生。大鵬薬品工業は栄養ドリンクなど有名ではあるが、主力は抗がん剤の開発とがん研究とのこと。千賀さんもがんに関わる研究を行っているとのことであった。

研究者として働く場は大きく分けて2つあり、1つが大学、もう1つが企業である。コスモ現役生は大学の研究者の話聞く機会は頻繁にあるが、企業の研究者の話聞く機会はあまりないため、そういう点でも良い講演であった。大学の研究と企業の研究の違いを「大学は0~1、企業は1~100を研究する場」という表現をされていて、どちらを選ぶかはそこにたどり着く過程で考えていくことになるだろう、とのこと。ただ、大学にしろ、企業にしろ、研究者を目指すのであれば、最低でも修士、できれば博士(Ph. D)であった方がいいということを強調されていた。大学の研究者は理系であれば、ほぼ博士のみ、企業の場合は分野によるが、修士と博士が概ね半分ずつ。しかし、海外に行くとPh. Dの肩書がなければ研究者と認められない場合もあり、Ph. Dの肩書は非常に高い価値を持つ。Ph. Dは、今ある学問から新たに枝分かれさせて、国際論文を書き、世界の同一分野の人に認められる、という品質保証でもある。現在は企業も積極的にPh. Dを採用しているので、ぜひPh. Dを目指してほしいとおっしゃっていた。

しかし、そこへの道のりは容易ではなく「時間を有効に活用するように」という現役生へのアドバイスもあった。「何かに挑戦するのに年齢は関係ないが、受け手がどう判断するかは、また別の問題」であり、大学で研究職を得たいのであれば「35歳くらいまでに一定レベル以上のポストに就く」ことができなければ、その先が厳しくなる。また、いろいろなチャンスは、「あるタイミング」でしかめぐって来ないので、そのチャンスに常に備えていられるようにプランを立て、時間を有効に使ってほしい。

生徒からの質問は、率直に聞きたいことが飛び出してきた印象である。千賀さんは大学院生のときに、マレーシア、米国、スウェーデンに留学されており、その費用や、大学の学費をどう捻出したかも気になったようである。返済

不要な奨学金は競争が激しく、狭き門であることは確かである。しかし、留学関係の奨学金は、日本人の応募者が少なく、意外と競争率は低いとのこと。審査のプレゼンでしっかりやりたいことをアピールできれば、十分にチャンスはあるそうなので、生徒たちにも頑張ってもらいたい。

その他の質問では、研究者の結婚事情や、学生時代のアルバイトについてなど、率直に答えていただいた。千賀さんの専門は分子生物学であるが、バードウォッチングや山歩きを趣味にされていたり、小学生の頃からの趣味である手品を学生時代のアルバイトに活かしていたり(結婚式場で手品を披露するアルバイトをしていたそう)、スウェーデン留学中はバイオインフォマティクスを学んでいたりと、専門以外でも非常に多才である。公演の中でも「いろいろなことを学ぶことが自分の専門に生きる」とおっしゃっており、このあたりにコスモらしさを感じる。

公演の最期は「好奇心と挑戦と継続が大切。厳しい環境に自分を置くことも大切だし、疲れても失敗しても継続し続ける中で結果が出る。」という言葉で締めくくられた。

(町田)

【第3部：基調講演「科学新書ブルーバックスの作り方と編集者からみたトップ研究者の素顔」】

第3部は、講談社ブルーバックスからお招きした編集者の高月順一さんと倉田卓司さんに基調講演を行って頂いた。実は、4年前にコスモサイエンスコース3年生の特別授業で講師をお願いした佐藤健太郎さん(サイエンスライター、「炭素文明論：「炭素の王者」が歴史を動かす」(新潮選書)の著者)のご紹介によるもの。コスモサイエンスコースでお招きする講師はほぼ全員理系の方々だが、今回は共に文系出身。多くの取材を通して見てきた一流研究者の素顔から、研究者の資質をより一般的にとらえた形で生徒に伝えてもらえるかもしれないという期待があった。

トップ研究者はやはり尋常ではないようである。テレビによく出演されている脳科学者の池谷雄二先生から発せられる言葉はそのまま原稿になるほどクリア。ノーベル物理学賞受賞者の南部陽一郎先生は「10年後に物理学がどんな成果を生み出すか知りたかったら南部に聞けというくらい天才」。そして、ノーベル医学生理学賞受賞者の本庶佑先生はダースベーダー並みに怖い。ゼブラフィッシュの模様の研究で有名な大阪大学の近藤滋先生(「波紋と螺旋とフィボナッチ」角川ソフィア文庫の著者)は本庶先生のお弟子さん。免疫の研究室にしながら隠れて魚の模様の研究をしていたのが見つかって「魚になんかにうつつを抜かして」と激怒されたとか。けれど本庶先生のお部屋にはずっと近藤先生の研究対象であったゼブラフィッシュの写真が飾られていたとのこと。

「皆さんには好きなことを極めて頂きたい」「一流の研究

者は執着心を持ち、ある意味エゴイスト。そして細かいことには拘らない」と高月さん。トップ研究者は損得で研究しているわけではない。自分の専門分野、自分が知りたいことをひたすら追求した結果の先にたまたま今があるだけ。先のことはわからない。AIなどマスコミがもてはやす流行りがあり、それが当たることもあるけれども。例外外れでも、自分が好きなことなら後悔しない。

倉田さんからも生徒にメッセージ。「コミュニケーション力とチームワークを大切に」。トップ科学者は最先端の知識を文系の人にもわかるように説明できる教え上手であり、科学を好きにさせる力を持っている。そして何より、今の時代は一人では何もできない。大きな成果を出すためには自分の研究室だけではなく、時にはライバルとなるジャンルの人たちと協力することも必要となる。

講演後は研究者の姿勢、良い文章の条件、取材対象の決定の仕方など様々な角度から途切れることなく活発に質疑応答が交わされた。また、生徒感想文にも様々な角度からの感想があったが、トップ研究者の研究に対する姿勢、資質についての感想が多く、私の思いが生徒に通じたようで非常に嬉しかった。特に、コミュニケーション力の必要性に触れた感想文が多くあった。

基調講演を聞き終えて、私自身、瑞陵コスモサイエンスコースで大事にしていきたいことが再認識できた。瑞陵コスモサイエンスコースは、校外の実習・探究活動・特別授業などの経験を通して、ゆとりある環境の中で豊かな感性を育み、生徒自らが挑戦するきっかけを生み出す場でありたい。拙速に成果を求めるがため近視眼的な見方、考え方になりがちな最近の世の中の動向・・・教育においてもその波は存在する。けれど、トップ研究者の姿勢はいつも変わらない気がする。「一流の人は役に立つとか役に立たないとかは気にしない」「やりたいからやる」と高月さん。私の中で、日本初のノーベル化学賞受賞者・福井謙一先生がマスコミからの「何の役に立つことをするのか？」という質問に「なんの役にも立たないことをします」と回答したというエピソード（化学 Vol. 68 No. 11 (2013)）が繋がった。このようなトップ研究者の姿勢は瑞陵の若者によく似合う。「効果が顕在化すれば申し分ないが、役に立っ

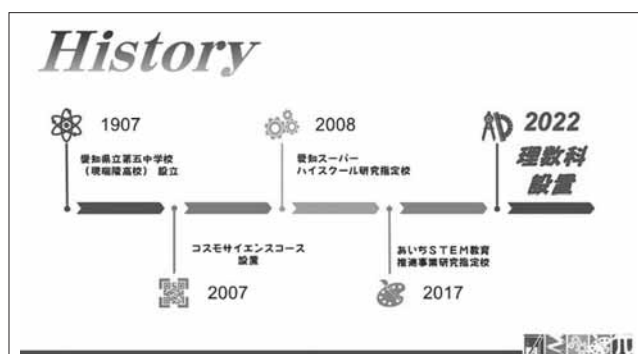
ているかどうかかわからないが生徒の潜在意識の中であり続けられたい」「いつか役に立てば申し分ないが、立たなくても良い」こういったゆとりのある場を提供し、生徒たちを見守る懐の大きさがコスモサイエンスコースにも常に求められていると感じる。もちろん教員が生徒に良いものを提供し、情熱をもって語りかけることは必須であるが。

(西森)

この集いの後、3年生はそれぞれの道に進んでいった。今年卒業していったコスモ生も個性的な生徒が多かった。毎日のように教室の黒板に数式を書いてクラスメイトと議論していた生徒は東京大学へ進学していった。友人との議論を通して、面白い視点に気づいたり、他人の視点が参考になったりしたそうである。大学でももっと多くの出会いに恵まれることを願っている。4月には、また新たに40名が入学し、コロナ禍の中でも様々なことに興味関心を持ちながら学んでいる。

コスモサイエンスコースは2022年度から理数科に生まれ変わる。コスモのスピリットをさらに発展させ、日々変容していく社会の中で柔軟な視野を持ち、挑戦し続ける科学人材を送り出していきたい。

(山崎)



てらかど動物病院

院長 寺門 俊博
獣医師 (瑞45回)

〒465-0087 名古屋市中東区名東本通5-19
TEL.052-703-1101 FAX.052-703-1189
<http://www.terakado-ah.com>

稲垣俊宏税理士事務所

税理士 稲垣 俊宏 (瑞47回)

〒471-0064 豊田市梅坪町9-4-5 FESTA80 208
TEL.0565-63-5764 FAX.0565-63-5774
E-mail inagaki-cpta@arrow.ocn.ne.jp

大久手山本屋

専務取締役 青木 裕典 (瑞60回)

〒464-0854 名古屋市中種区大久手町5-9-2
TEL 052-733-7413 FAX 052-784-7440
<http://a-yamamotoya.co.jp>

寄稿

互い助け合いの場の創造を通して、物心両面の幸福を実現し、世界の発展に寄与する

兼元 謙任 (カネモトカネトウ) (37回)



兼元謙任です。株式会社オウケイウェイヴの創業者兼取締役・会長を務めさせていただいております。

私たちは「互い助け合いの場の創造を通して、物心両面の幸福を実現し、世界の発展に寄与する」とのミッションをかかげ

ています。まず、なぜこの理念をもって事業を始めたかを説明させていただきます。

「差別から」

私は小学校5年生の頃に、自分が在日韓国人であることを知らされました。現在は日本国籍を取得していますが、帰化申請をするために両親と役所に行ったところを、クラスメイトが見ていたのです。当時はまだ、中国や韓国に良くないイメージを持っていた心無い日本人がいた時代でした。翌日から、クラスメイトの態度が豹変しました。昨日まで一緒にキャッチボールをしていた友達たちから、トイレに顔を入れられ、袋たたきにされたのです。日本という国だけでなく、子孫が差別にあうことを承知で日本へやってきた祖父をも恨めしく思うほど、そのいじめは辛辣なものでした。その強烈な差別の体験が、私が生涯をかけて取り組むテーマになりました。

瑞陵高校に入学し、杉原千畝さんが先輩であることを知りました。第二次世界大戦中、リトアニアの地方領事館に赴任していた杉原さんが、ドイツの迫害により欧州各地から逃れてきた難民たちの窮状を救うために大量のビザ（通過査証）を発給し、避難民を救った有名なエピソードに大きな感銘を受け心が救われました。

瑞陵高校から、愛知県立芸術大学に進学し、障害者用の器具などのデザインを仕事にしました。自分が高校時代に難病で入院しとき感じた不自由さを解決したかったからです。数々のコンテストで入賞しましたが、ユニバーサル・デザインという概念がまだまだ一般的でなかった当時は、ほとんどお金になりませんでした。

日本人の女性と結婚し、子供にも恵まれ、デザイン会社にも就職しましたが、国籍の差別による劣等感が邪魔をして家庭も仕事もうまくいきませんでした。このままではダメだと思い、妻子を名古屋に残して単身上京しました。今から25年前のことです。

上京しても、状況は変わりませんでした。都内の工事現場や公園を転々として寝泊りする生活が続きました。奇妙なことにこの路上生活の中で初めて自由を感じる事ができました。バブルははじけていましたが、寒い時は自販機の裏に潜れば暖かいし、ファーストフード店やレストランからいくらでも食べ残しがもらえました。ホームレスが糖尿病になるようなおかしい時代だったのです。

そんな時、ある中国人の女性に出会いました。彼女は中国の内地の貧しい村で生まれ育ち、日本に渡ってきて、娼婦をしながら大学に通い、家賃を節約するために路上生活をしていました。彼女に自分の不遇を嘆いたところ、思いつき殴られました。「あなたより不幸な環境で生きている人はいくらでもいる。悪いのは国や家族じゃない。自分が社会から受けた理不尽に対して、何もできないあなた自身なのだ」と。目が覚めるパンチと言葉でした。

「OshieteとKotaeru」

私は東京で路上生活をしながら、今一度立ち直る道を探りました。つてを辿り、インターネットのホームページを作成する仕事に出会うことができたのはいいのですが、知識が不足していました。そこで、パソコン通信の掲示板サイトでホームページの作成の技術を質問しました。

しかし誰も答えてくれず、むしろ拒絶されてしまいました。インターネット上でも、差別と不平等を味わうことになろうとは……。

私たちは、2000年からネット上で互いに助け合うサービスであるQ&Aコミュニティ「OKWAVE.JP」<<https://okwave.jp>>を運営させていただいておりますが、このサイトの発想を得たのは、まさにそのときでした。誰でもが疑問や悩みを訊ねることができ、それに救いの解答が寄せられる。そんな互い助け合いが当たり前になる世界。ジョン・レノンの「イマジジン」という名曲があります。詞にある「世界に国境なんてない、人々が世界を分かち合い、一つになって生きていく世界」を夢想しました。

ホームページを作る仕事をこなしながら、この「助け合いのQ&Aコミュニティ」を作るために奔走しました。この夢にお金を出してくれる投資家はなかなかいなかったのですが、たくさんの人に会い、お願いする中で、この計画に賛同して無料でプログラムを書いてくれるプログラマーと出会うことができました。奇跡かと思えたのは、そのプログラマーの誕生日がジョン・レノンと同じだと打ち明けてくれた瞬間です。

サイトの名前は、「Oshiete」「Kotaeru」の頭文字をとってOKこれを波のように世界に広げていくということで、OKWAVE（オウケイウェイヴ）としています。世界150カ国から年間7000万人以上の人々に利用されています。

OKWAVE.JPを企業用のお問い合わせセンターに利用したものが企業向けの「OKBIZ」サービスです。<<https://okwave.co.jp/business/service/biz-faq-helpdesk/>>

企業に寄せられる問い合わせのほとんどが重複するものです。重複する質問に公式な回答をつけ、分類しFAQ（よくある質問と回答）として開示することで、企業のお客様は、そのよくある質問と回答を見ることで、自己解決することができ、問い合わせ対応によるコスト負担が軽減されるのです。三菱UFJ銀行、日本生命、楽天、TSUTAYAをはじめとするガス、電気、自動車、電鉄会社など幅広い分野の大手企業650社に利用されています。

質問と回答、よくある質問と回答については、独自開発の人工知能「KONAN」<<https://okwave.co.jp/recruit/technology/>>によってチェック、分類され、自動応答を実現しています。

2030年には500億以上の機器がインターネットにつながるといわれています。無数の機器が連携される中で起きたトラブルは、個々のメーカーでは対応し切れません。ユーザーの知識を含めて対処していく必要があるでしょう。

私たちはQ&Aコミュニティーを通じてこの仲介役を担っていきます。ライドシェアや民泊など、さまざまなモノ・空間が共有されている現在、私たちは「知識をシェア、していきます。



「感謝経済」

新型コロナウイルスが猛威を振るいました。このコロナウイルス騒動で、既存の経済活動は大きく様変わりをしていくことになると思います。

リモートワークとリアルでの仕事を交代制にしながら、この難局を乗り越えていかねばなりません。今までの価値基準を補足する新しい価値基準をセットする必要があります。

そこで私たちが提唱しているのが「感謝経済」です。
 〈<https://thanks-economy.com>〉

「OKWAVE.JP」の中で閲覧数が多いQ&Aを一つ紹介しましょう。閲覧数40万ページビューを超えているものです。それは、生後半年の子供の夜泣きが辛くて、夫に相談しても協力してもらえず、子供が嫌いになりそう死にたい……という子育ての辛さを訴える母親からの質問です。
 〈<https://okwave.jp/qa/q7610421.html>〉

この質問に非常にたくさんの共感と励ましの回答が寄せられました。テレビでも紹介され、子育て向けの車を企画する大企業のCMにも使われるほど大きな反響を得ました。

「OKWAVE.JP」は108か国語に翻訳をして閲覧することが可能です。このQ&Aを閲覧し感動した人々から、「投げ銭、をしてもらい、それを、Q&Aの投稿者に還元することができたら良いのに！」と考えて参入したのが、仮想通貨(暗号資産)の世界です。質問者と回答者にビットコインで「投げ銭、のように寄付をすることができるようになっています。

「OKWAVE.JP」でのやりとりをもう一步進め、「感謝」を価値として見える化するという試みです。

「OKWAVE GRATICA」〈<https://thanks-economy.com/gratica/>〉というサービスは、企業内において気軽に「ありがとうカード、を送ることができ、OK-Tipという「ありがとうポイント、を併せて贈ることができます。「会議で発言してくれてありがとう」「仕事を手伝ってくれてありがとう」「企画を出してくれてありがとう」など、日頃はやって当たり前とみなされていたことに感謝を込め明示することで、その価値が見える化するサービスです。ポイントを貯めると、旅行や買い物などの優待を受けることができます。開始後1年で年間1億人以上が利用するすかいらーくグループをはじめとする450社を超える企業に採用してもらっています。

北米の子会社の「DAVIA」〈<https://www.holidaycardsapp.com>〉はグリーティングカードを贈ることができるサービスで、1500万人の登録者がいます。ここにもこのOK-Tipとビットコインで「投げ銭、ができるサービスを広げていきます。

「ありがとうカード、と「ありがとうポイント、がやりと

りされ、「ありがとう、の価値が見える化され、流通する世界が「感謝経済」です。

「ありがとう、の価値が見える化された世界を考えた時、差別や不平等が是正され、ジョン・レノンの夢想した世界にほんの少しだけ近づけるのではないかと期待をしながら、「互い助け合いの場の創造を通して、物心両面の幸福を実現し、世界の発展に寄与する」という企業理念をかかげて日々事業に精進しております。

THANKS ECONOMY

感謝経済



「存在意義」

友人のプログラマーの話です。ある朝、彼の同居している双子の兄弟をベッドに起こしにいくと冷たくなっていた。昨日まで生きていた兄弟が急性の心筋梗塞で亡くなったのです。彼は焦りました。一卵性の双子なので、自分にもその可能性が高いと考えると仕事も手につかず、とうとう会社を休み旅に出ました。もし自分が兄弟のように明日死ぬとしたら、自分は何をしたいのかを考え直したそうなのです。結局答えは出なかった。自分の目の前にある仕事を淡々とこなす日々に戻りました。しかし、旅に出る前と、旅で「何故生きているか?」を考えた後では、仕事への取り組み方が変わったというのです。日々の取り組み、プログラム一行一行に覚悟を込めて取り組むことができるようになったと言います。

私たちは誰も変わらぬ同じゴールを目指しています。「死」というゴールです。科学による寿命の克服はまだまだ先の話になると思いますからね。

「あなたの生まれた意味はなんですか?」そんなことを考えさせられることはあまりないと思います。

ただ、想像してみるのも良いかも知れないのです。

「きけ わだつみのこえ」(⇒ウィキペディア参照)

「夜と霧」(⇒ウィキペディア参照)

などを読んで、登場人物たちの気持ちを思い描き、もしも自分がその時、そのような状況にいたなら、一体何をしたいか、どう生きたいかを考えてみるのです。仮定で良いので、自分はこんなことのために生きているという自分自身の「存在意義、を探ってみても良いでしょう。

大先輩の杉原千畝さんの胆力は、第二次世界大戦中の思索から生まれたのかも知れません。(了)

令和2年度 瑞陵会 役員 (敬称略)

1. 名誉会長	副会長	常任幹事	常任幹事	常任幹事
校長 嶋田麻知代	瑞 18 安島 政実	瑞 20 斉藤 純司	瑞 27 早瀬 弘親	瑞 33 村松 聡子
2. 名誉顧問	瑞 19 浜島 昭二	瑞 20 森 重統	瑞 27 若松 文彦	瑞 34 広澤 一郎
瑞 5 高木 修	瑞 20 寺田 志郎	瑞 21 澤田 耕一	瑞 28 田中 健二	瑞 34 栗木 宣明
瑞 17 中村 利雄	瑞 24 丸山 昌宏	瑞 21 秋田真希子	瑞 28 大脇 一生	瑞 37 山口 寛
3. 顧問	瑞 28 富屋誠一郎	瑞 21 木村 恵子	瑞 28 為房 信弘	瑞 37 瀧崎 優佳
瑞 12 判治 誠吾	瑞 29 青山 和暁	瑞 21 柴田 達男	瑞 28 渡辺 大介	瑞 38 佐藤 成俊
瑞 12 三宅 養三	瑞 29 上林 公子	瑞 22 鬼頭 誠	瑞 29 石原 広道	瑞 39 野間 巖
瑞 13 斉藤 二郎		瑞 22 鬼頭 恵子	瑞 29 市川 裕一	瑞 40 梶田 香織
瑞 15 伊神 勝彦	6. 常任幹事	瑞 22 神谷 彰彦	瑞 29 佐藤 正徳	瑞 42 近藤 茂弘
瑞 17 青木 偉晃	瑞定9 井上 敏之	瑞 23 成田 龍一	瑞 29 山下富喜雄	瑞 47 三品 耕作
瑞 17 天野 清美	瑞 13 坂東 信吾	瑞 23 松尾 知之	瑞 30 玉山 哲郎	7. 総務
瑞 17 加藤 正躬	瑞 15 柴田 肇	瑞 24 上杉 修平	瑞 30 市川 純子	全日教頭
瑞 17 久田 宗弘	瑞 16 滝山 昭	瑞 24 鈴木 克彦	瑞 30 今津 逸生	瑞 34 兵藤 直人
瑞 19 揖斐 敏夫	瑞 17 石橋 畝	瑞 25 朝倉 隆司	瑞 30 河原紀久子	全日教頭 阿部 邦彦
瑞 20 錫村 明生	瑞 17 片山 真紀	瑞 25 天鷲 操子	瑞 30 村上 慎一	8. 会計管理
瑞 22 岡本 信明	瑞 17 水野 達郎	瑞 25 松本 有子	瑞 31 太田佳奈子	事務長 加藤 哲士
4. 会長	瑞 19 木下 道子	瑞 25 中根 卓郎	瑞 31 六郷 昌紀	9. 監査
瑞 20 佐合 広利	瑞 19 稲葉 賢治	瑞 26 岩田 隆	瑞 32 水谷 仁	定時教頭 堀田 浩史
5. 副会長	瑞 20 栗田 真砂	瑞 27 西郷 孝	瑞 32 最能 康雄	
瑞 18 一ノ瀬喜之	瑞 20 濱島誠一郎	瑞 27 鈴木 英利	瑞 33 臼井 幹裕	

瑞陵会 期別幹事 (敬称略)

瑞 5 三武 真人	瑞 29 松浦 祥久	瑞 63 加納 香織	瑞 68定 秋田 愛也
瑞 6 神谷 貴	瑞 31 水谷 浩次	瑞 63定 金子 圭介	瑞 68定 柄澤 璃奈
瑞 6 野々垣和昭	瑞 32 藤原 和徳	瑞 63定 山下晏須美	瑞 69 佐野 志佳
瑞 6定 武藤 正男	瑞 33 小森 敦夫	瑞 64 小島 由莉	瑞 69 岡島 智矢
瑞 10 近藤 昌三	瑞 34 兵藤 直人	瑞 64 馬淵 知佳	瑞 69定 水谷 暁
瑞 11商 那須 義弘	瑞 34 大橋 健二	瑞 64定 青山 静香	瑞 69定 岸田 元汰
瑞 14 水野 茂明	瑞 34 中村美貴子	瑞 65 國島 夕貴	瑞 70 池井 龍樹
瑞 14 嶋田 智	瑞 36 伊藤 辰夫	瑞 65 犬飼 悠介	瑞 70 戸谷 滉希
瑞 15 樋口 順一	瑞 36 植山 宇志	瑞 65 水野 翔太	瑞 70定 矢盛 光樹
瑞 17 前田 孝雄	瑞 36 川口 美穂	瑞 65定 千賀 歩美	瑞 70定 天野 拓実
瑞 18 竹内 尚平	瑞 38 桑原 永昭	瑞 65定 坂 啓行	瑞 71 飯田 康暉
瑞 18 福澤 茂人	瑞 38 門池 久美	瑞 66 村上 綾子	瑞 71 梅田 莉子
瑞 19 櫻木 基	瑞 47 池口 伸也	瑞 66 小出 英幸	瑞 71定 酒井天四郎
瑞 20 栗田 育孝	瑞 47 渡邊さとみ	瑞 66定 菊池 綾	瑞 71定 齊藤 涉
瑞 20 宮崎三子良	瑞 47 近藤 浩正	瑞 66定 古林 一生	瑞 72 成田 にこ
瑞 24 中山 道夫	瑞 47 伊藤 靖朗	瑞 67 高谷 将隆	瑞 72 紀平 葉水
瑞 24 古田 正	瑞 49 川島 奈美	瑞 67 浅田 健斗	瑞 72定 関山 静香
瑞 26 大島 正範	瑞 62 上田 敬子	瑞 67定 山之腰晴香	瑞 72定 水上 大輝
瑞 28 猪飼 俊生	瑞 62 佐野 泰成	瑞 67定 山下 博由	
瑞 29 田上 雄次	瑞 62定 寺中 麻美	瑞 68 出口 尚人	
瑞 29 高橋 龍祐	瑞 62定 村瀬 悠太	瑞 68 鬼頭 駿太	

瑞陵会会長
社会福祉法人 サン・ビジョン

監 事 佐 合 広 利

(瑞20回)

〒461-0004 名古屋市東区葵3-25-23
TEL.052-856-3311 FAX.052-856-3355

名刺広告募集のご案内

瑞陵会報の名刺広告を募集しています。
ご希望の方は、瑞陵会事務局 森までご
連絡下さい。

〒467-0811

名古屋市瑞穂区北原町2-1
瑞陵高校内
電話 052-851-7141

瑞陵会ホームページの
ご案内

<http://www.bekkoame.ne.jp/i/zuiryokai/>

瑞 陵 会 報 2020

平31年度・令和元年度 瑞陵会会計 決算書

収入済額 6,483,395円 支出済額 3,935,484円
 残額 2,547,911円

収入の部 (単位：円)

項目	予算額	収入済額	残 額	摘 要
繰越金	1,783,242	1,783,242	0	前年度から繰越
繰入金	2,607,276	2,559,466	△ 47,810	賛助会1,530,190 エアコン1,029,276
入会金	1,140,000	1,065,000	△ 75,000	3,000円×(346+9)名
参加費	1,000,000	660,000	△ 340,000	総会参加費 132名
広告収入	400,000	412,673	12,673	名刺広告収入等
雑収入	482	3,014	2,532	名簿販売等
合 計	6,931,000	6,483,395	△ 447,605	

支出の部

項目	予算額	支出済額	残 額	摘 要
事務費	950,000	266,898	683,102	
報償費	400,000	100,000	300,000	全国大会謝金(沖縄総体等)
報酬費	200,000	0	200,000	
通信費	200,000	46,767	153,233	郵便切手等
需用費	150,000	120,131	29,869	同窓会館電気料、東京セ ンボムゼウム賛助費等
会議費	180,000	29,615	150,385	
役員会	50,000	20,000	30,000	会議経費等
委員会	80,000	9,615	70,385	総会準備委員会経費等
需用費	50,000	0	50,000	
事業費	5,429,276	3,638,971	1,790,305	
総会・交流会費	2,100,000	1,176,287	923,713	総会・交流会費用
会報費	900,000	598,860	301,140	会報印刷・送付費用
エアコンリース代	1,029,276	1,029,276	0	感喜堂エアコン
秋期文化行事	200,000	0	200,000	
学校支援事業	1,000,000	634,548	365,452	沖縄総体派遣補助、 卒業記念品等
支部支援事業	200,000	200,000	0	関東瑞陵会支援
予備費	371,724	0	371,724	
合 計	6,931,000	3,935,484	2,995,516	

平31年度・令和元年度 瑞陵会積立金会計 決算書

収入済額 2,203,241円 支出済額 0円
 残額 2,203,241円

収入の部 (単位：円)

項目	予算額	収入済額	増減額	摘 要
繰越金	2,203,054	2,203,054	0	前年度から繰越
雑収入	136	187	51	預金利息等
合 計	2,203,190	2,203,241	51	

支出の部

項目	予算額	支出済額	残 額	摘 要
繰出金	0	0	0	

平31年度・令和元年度 瑞陵会賛助会費会計 決算書

収入済額 4,536,789円 支出済額 1,530,190円
 残額 3,006,599円

収入の部 (単位：円)

項目	予算額	収入済額	増減額	摘 要
繰越金	3,904,575	3,904,575	0	
賛助会費	1,000,000	632,190	△ 367,810	72名
雑収入	425	24	△ 401	利子
合 計	4,905,000	4,536,789	△ 368,211	

支出の部

項目	予算額	支出済額	差 額	摘 要
繰出金	1,578,000	1,530,190	△ 47,810	瑞陵会会計へ繰出

(一財) 瑞陵高校瑞陵会基金

2019年度収入 約30万円 支出 約116万円

3月末現在額 約1,486万円

(前年度繰越額 約 1,072万円 + 2019年度収入 約30万円 + 定額貯金 500万円 = 約1,602万円)

令和2年度 瑞陵会会計 予算書

収入予算額 7,398,000円 支出予算額 7,398,000円
 差引額 0円

収入の部 (単位：円)

項目	予算額	前年度予算額	増減額	摘 要
繰越金	2,547,911	1,783,242	764,669	前年度から繰越
繰入金	2,619,276	2,607,276	12,000	聯立200名、基金エアコンから繰入
入会金	1,080,000	1,140,000	△ 60,000	3,000円×360名
参加費	750,000	1,000,000	△ 250,000	総会参加者(150名)
広告収入	400,000	400,000	0	名刺広告収入等
雑収入	813	482	331	預金利息等
合 計	7,398,000	6,931,000	467,000	

支出の部

項目	予算額	前年度予算額	増減額	摘 要
事務費	1,000,000	950,000	50,000	
報償費	400,000	400,000	0	表彰・慶弔等
報酬費	200,000	200,000	0	非常勤職員の報酬
通信費	200,000	200,000	0	郵便切手等
需用費	200,000	150,000	50,000	電気料・消耗品費等
会議費	180,000	180,000	0	
役員会	50,000	50,000	0	会議経費等
委員会	80,000	80,000	0	会議経費等
需用費	50,000	50,000	0	消耗品等
事業費	5,479,276	5,429,276	50,000	
総会・交流会費	2,100,000	2,100,000	0	総会・講演会・懇親会費等
会報費	900,000	900,000	0	会報印刷・送付(賛助会員)
エアコンリース代	1,029,276	1,029,276	0	基金から(85,773円×12月)
秋期文化行事	200,000	200,000	0	平30年度開始
学校支援事業	1,000,000	1,000,000	0	学習環境整備
支部支援事業	250,000	200,000	50,000	関東瑞陵会支援
予備費	738,724	371,724	367,000	
合 計	7,398,000	6,931,000	467,000	

令和2年度 瑞陵会積立金会計 予算書

収入予算額 2,203,400円 支出予算額 0円
 差引額 2,203,400円

収入の部 (単位：円)

項目	予算額	前年度予算額	増減額	摘 要
繰越金	2,203,241	2,203,054	187	前年度から繰越
雑収入	159	136	23	預金利息等
合 計	2,203,400	2,203,190	210	

支出の部

項目	予算額	前年度予算額	増減額	摘 要
繰出金	0	0	0	

令和2年度 瑞陵会賛助会費会計 予算書

収入予算額 4,007,000円 支出予算額 1,590,000円
 差引額 2,417,000円

収入の部 (単位：円)

項目	予算額	前年度予算額	増減額	摘 要
繰越金	3,006,599	3,904,575	△ 897,976	前年度からの繰越
賛助会費	1,000,000	1,000,000	0	200名
雑収入	401	425	△ 24	利子等
合 計	4,007,000	4,905,000	△ 898,000	

支出の部

項目	予算額	前年度予算額	増減額	摘 要
繰出金	1,590,000	1,578,000	12,000	

瑞陵高校の近況

瑞陵進路セミナー（令和元年度）（敬称略）

- 1 1年生キャリアガイダンス 5月24日（水）7限
家田 修（23回）早稲田大学教授「悔いのない人生」
- 2 進路セミナー
 - ① 5月24日 家田修（23回）
「研究者になるためには一教科書の向こう側」
 - ② 11月22日 千賀匠悟（62回）
大鵬薬品工業株式会社「薬を作ること」
- 3 1年生職業人講話講師（OBのみ紹介）
医療・看護関連 錫村明生（20回）偕行会城西病院院長
建築関連 宮崎雅博（20回）株式会社杉本組
金融関連 小柴洋一（43回）名古屋銀行
法曹関連 安井一大（56回）
鶴舞総合法律事務所弁護士
公務員関連 栗木宣明（34回）
名古屋市立稲西小学校校長

濱島誠一郎奨学事業報告（令和元年度）

- 1 バスを使った研修事業
幕末歴史探訪と茶道研修 7月29日（月）生徒40名
 - 2 博物館・美術館での研修
名古屋市美術館「吉野石膏所蔵品展・印象派からその先へ」5月25日（土）生徒27名
名古屋市美術館「カラヴァッジョ展」11月17日（土）生徒20名
 - 3 研究助成
高文連自然科学専門部講習会
豊橋市「自然史博物館」、愛教大実験講習会 1名
名古屋市科学館（放射線ウォッチング） 1名
豊橋科学技術大学情報プログラミング講習会 2名
県教育委員会「知の探究講座」
スマートエネルギーを支える科学（豊田工業大学） 1名
人の心を知る（愛知県立大学） 1名
未来を創るマテリアル科学と工学技術（名古屋工業大学） 1名
自主研究「軍艦技術の進化について」 1名
- ※12月以降は新型コロナ感染防止のために行事を見合わせた。

瑞陵高校助成基金事業（熊澤喜八郎事業）

海外学習事業

3月の予定は新型コロナ感染防止のため中止

大学入試状況（過去3カ年）

	令2年度入試	31年度入試	30年度入試		令2年度入試	31年度入試	30年度入試		令2年度入試	31年度入試	30年度入試
北海道大	2	1	1	三重大	8	17	9	東京理科大	14	25	17
東北大	1	2	0	京都大	1	2	1	日本大	2	3	4
筑波大	2	4	2	大阪大	4	4	3	愛知大	59	46	50
千葉大	1	2	0	奈良女子大	5	2	1	愛知医科大	10	5	10
東京大	1	0	0	神戸大	2	5	1	愛知学院大	23	12	13
東京工業大	0	0	0	広島大	0	0	3	愛知淑徳大	44	34	37
東京外国語大	0	0	1	九州大	2	0	0	金城学院大	28	27	16
東京海洋大	0	1	0	東京都立大	5	1	2	椋山女学園大	24	50	22
お茶の水女子大	1	0	1	愛知県立大	14	7	11	中京大	130	101	74
一橋大学	0	1	0	名古屋市立大	15	16	13	豊田工業大	15	21	7
横浜国大	0	2	4	国公立大学計	176	200	152	南山大	182	135	79
富山大	1	1	1	青山学院大	12	2	6	名古屋外国語大	42	120	44
金沢大	2	3	1	慶応義塾大	4	6	2	名城大	171	194	156
信州大	3	5	3	早稲田大	4	6	2	藤田医科大	21	5	19
静岡大	5	7	6	上智大	2	0	4	立命館大	124	126	89
愛知教育大	10	18	16	明治大	13	15	18	同志社大	64	55	30
名古屋大	30	35	27	法政大	10	18	14	関西大	14	18	16
名古屋工業大	14	23	12	立教大	5	4	5	関西学院大	13	12	15
岐阜大	20	18	15	中央大	9	22	14	私立大学計	1271	1266	1001

部活動の活躍（令和元年8月～令和2年7月まで）

運動部

全国大会出場

- 全国高等学校総合体育大会（8月4日～）沖縄県
男子槍投 堤洗太郎 7位入賞
男子4×400mR 7位入賞
（上杉健人、水谷冠太、大崎実、竹内彰基、永田智也、藤川直哉）
男子400mH 水谷冠太 準決勝進出
男子400m 竹内彰基 予選止まり
女子走幅跳 木村莉子 予選止まり
第74回国民体育大会
少年男子A槍投 堤洗太郎 2位入賞

東海大会

- 高校新人陸上競技選手権大会
女子400mH 4位 女子三段跳 4位

県大会

- 第72回全国高等学校バスケットボール選手権大会
愛知県大会
女子バスケットボール部 決勝トーナメント出場
新人体育大会陸上競技
男子110mH 6位 男子5000mW 6位
女子400mH 3位 女子走幅跳 5位
女子三段跳 3位
新人体育大会水泳競技
男子100m背 8位 女子50m自 8位
市内県立大会 女子優勝 男子3位

文科系活動

全国大会

- 第43回全国高等学校総合文化祭佐賀大会
書道部門出品 高松一茶
ムービープロダクション eiga worldcup2019全国大会
自由部門入選 佐藤諒介 地域部門入選 鈴木翔太

東海大会相当

- 生物部 第18回AITサイエンス大賞
ものづくり部門奨励賞「もっと身近にどろ電池」
自然科学部門努力賞「植物を利用した発酵の研究」

県大会相当

- 文芸部 県高等学校文化連盟文芸コンクール
短歌部門 2位 散文部門 3位
書道 第34回県総文祭書道展 出品
食物科 令和元年度牛乳・乳製品利用料理コンクール
愛知県大会 優秀賞

その他の大会

- 全日本科学グランプリ2019 東海支部長賞
日本生物学オリンピック2019予選
生物部 優秀賞・優良賞
日本数学オリンピック東海地区予選 個人出場
杉原千畝記念短歌大会 学生の部
勇気賞1名、佳作1名

瑞陵会 会則 (平成26年改正)

- 第1条 本会は瑞陵会と称す。
- 第2条 本会は会員相互の親睦をはかり、併せて母校の発展に寄与することを目的とする。
- 第3条 本会は愛知県立第五中学校、愛知県熱田中学校、愛知県熱田第二中学校、愛知県実務女学校、愛知県女子商工学校、愛知県貿易商業学校、愛知県立瑞陵高等学校卒業生を会員とし、母校現職員および旧職員を客員とする。但し、中途転校者等かつて在籍した者も希望すれば役員会の承認を得て会員とすることができる。
- 第4条 本会に次の役員および期別幹事を置く。
- (1) 名誉会長 1名 現職中学校長
 (2) 会 長 1名
 (3) 副 会 長 若干名
 (4) 常任幹事 若干名
 (5) 総 務 2名 瑞陵高校現職員から選出する。
 (6) 会計管理 3名 うち1名は瑞陵高校事務職員とする
- (7) 監 査 2名
- 第5条 役員の出選と任期
- (1) 前条の役員は、総会で選出する。
 (2) 役員は任期は2年とする。但し、再選は妨げない。
 (3) 前項に定める役員は任期の始期は、改選年の定例総会開催の日の属する月の翌月の初日からとする。
 (4) 役員が欠けたときには、役員会において選出、補充することができる。その場合は、総会で報告し、承認を得ることとする。
- 第6条 各役員は次のとおりとする。
- 会 長 本会を代表して会務を統括する。
 副 会 長 会長を補佐し、会長に事故ある時はこれに代わる。
 常任幹事 役員会を構成し審議する。
 総 務 事務を管理する。
 会計管理 会計を管理する。
 監 査 会計を監査する。
- 第7条 名誉顧問および顧問
- (1) 名誉顧問は、歴代会長及び同窓会に顕著な功績のあった方から、総会の議決を経て会長が委嘱する。
 (2) 顧問は、経済界、学会、法曹界、教育界、スポーツ界など各種分野の著名人で、同窓会を支えていただけた方から、総会の議決を経て会長が委嘱する。
 (3) 名誉顧問および顧問は、会長の諮問に応じ助言する。
- 第8条 期別幹事
- (1) 期別幹事は、年次ごとに若干名を置き、各年次の取りまとめ及び本会との連絡調整などの任務を行う。
- (2) 期別幹事は、役員会の推薦を経て会長が委嘱する。
 (3) 期別幹事の任期は2年とする。但し、再任は妨げない。
- 第9条 本会はその目的達成のため、次の会合および毎年1回交流会を開く。
- (1) 総 会 定例総会は毎年1回開催し、臨時総会は役員会で必要と認められた時にこれを開催し、①会則の改正、②役員の出選、③その他必要事項について審議する。
 (2) 役員会 第4条の役員で構成し、①総会に付議する事項、②会務および会計、③専門委員会の承認、その他必要事項を審議し、会務を処理する。
- 第10条 議決はすべて出席員の過半数によって定められる。
- 第11条(1) 会長は役員会の議決を経て各種専門委員会を置くことができる。(a. 総会実行委員会、b. 親睦委員会、c. 会報委員会、d. その他)
 (2) 専門委員会の委員長は役員から充て、委員は役員会の推薦を経て会長が委嘱する。
- 第12条 庶 務
- (1) 庶務は若干名を置き、瑞陵高校現職員及び旧職員のうちから会長が委嘱する。
 (2) 庶務は、本会の事務を処理する。
- 第13条 本会の経費は次の収入をもってこれに充てる。
- (1) 入会金 3,000円とする。
 (2) 賛助会費 一口5,000円(5年分)以上とする。
 (3) 広告料、交流会費、その他の収入
- 第14条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。
- 第15条 本会の事務局を瑞陵高等学校内に置く。
- 第16条 会員多数の地には、総会の承認を得て支部を設けることができる。
- 第17条 本会則は、総会の議決を経なければ改正することはできない。
- 第18条 本会則に定めない事項は、役員会の審議を経てこれを決定する。
- 付 則 この改正規定は、平成24年度から施行する。
 但し、平成24年度総会の準備、賛助会員の募集、会報の準備など、会長が必要と認める事項は、平成24年1月31日以降、専門委員会準備会を設置し、準備を進めることができる。
- 平成26年4月1日改正附則
 付 則1 改正規定は、平成26年4月1日から施行する。
 付 則2 平成26年3月31日現に役員である者の任期は、第5条(2)の規定にかかわらず、同年の定例総会の属する月の翌月の末日までとする。

賛助会費募集

瑞陵会はネットワーク作りと財政再建が最大の課題です。卒業生の入会金だけでは事業の経費がまかなえず、財政の健全化が課題となっております。

そこで、財政健全化のために、2012年から賛助会費を募っております。5年分の年会費と考え賛助会費にご協力下さい。5年間会報を送らせていただきます。会報は瑞陵会ホームページでもご覧頂けますが、あなたの愛校心が瑞陵会の支えです。振り込み用紙の請求は瑞陵高校内瑞陵会事務局までどうぞ。(用紙がなければ、振込み手数料本会払いでも構いません) 賛助会費一口5,000円(一口以上でお願いします)

郵便振替(口座番号00880-7-190740) 払込先 瑞陵会

会報発送と名簿整理の都合上 〒・住所、氏名、卒業回(卒業年)をご記入下さい。

賛助会員名簿(敬称略)平成31年4月~令和2年3月

541 伊藤 賢造	13 酒井 秀房	19 稲葉 賢治	20 大賀 和子	23 豊島 正久	28 宮田 隆介	42 安部 和子
瑞3 新美 二郎	13 斉藤 二郎	19 井上 文男	21 澤田 耕一	24 吉賀 浩	30 青山 究	42 中山稚枝子
5 高木 修	14 山田 経信	19 浜島 昭二	21 有馬 克壽	24 佐々木史光	30 村上 慎一	43 伊勢田明代
7 丹羽 宏	17 青木 偉晃	20 佐合 広利	21 岡田 高明	25 川本 伸也	32 藤原 和徳	43 渥美 裕之
9 福島佐千男	17 天野 清美	20 田中 潤子	21 恒川 敬史	25 松本 有史	32 丹羽 基紀	44 近藤健一郎
9 伊藤 洋子	18 安島 政実	20 小川 美代	21 木村 恵子	25 西本 直明	32 水谷 仁	52 内田健一郎
11 池田 宣興	18 山田 則子	20 寺田 志郎	21 吉田 雅美	26 山本 雅之	33 植田 祥江	52 若林 正宣
12 服部 正典	18 伊藤 甫	20 山内美和子	21 飯塚美代子	27 捩垣 和美	34 中村美貴子	62 三品 秀和
12 片桐 文雄	18 岡田 延子	20 足立 賢治	22 中村美代子	27 杉本 博伸	37 伊藤 晴美	62 山田 好輝
13 中澤 明	19 佐渡山住子	20 伊藤 正伸	22 牛尾 正司	28 矢代 英彦	41 永田 善夫	定44 蟹江 満博

一般財団法人瑞陵高校瑞陵会基金 寄付者(敬称略)平成31年4月~令和2年3月

19 浜島 昭二	21 飯塚美代子	21 恒川 敬史	42 水野 貴志	18 回生同期会から45,000円、34回生有志から86,170円、
20 佐合 広利	21 木村 恵子	37 山口 寛	定16 伊藤 正	37回生有志から10万円の寄付がありました。

編集後記 //

同窓会報の役割の一つは、8月に開催される総会・交流会のご案内です。今年度は、佐合会長のご挨拶にあるように、慎重な検討の結果、中止となり、この役割を果たすことができません。同窓各位のご健勝を願って止みません。

非常事態宣言の発令にあたり強制力のある措置を求める声が多く聞こえました。しかし、戦後日本の法体系には国民の自由・自主・自律を制限する権限は政治に与えられていません。これを求めるのは、杉原千畝先輩や都留重人先輩が示された瑞陵魂に真っ向から対立するものです。自由とは、自主・自律つまり自己決定権を誰にも傷つけさせないということです。自分の自由は他人の自由。人種が違っても人であることに変わりはない、というのが千畝先輩の教えです。ドイツでは今、憲法から「人種」という概念を削除する議論が始まっています。当然、ナチスによる人種差別が念頭にありますが、「人種」というものがそもそもあるのかという議論です。自由を突き詰めるとここに至るということです。 (S.H.)

原稿募集のご案内

瑞陵会報の原稿として、在校生時代の出来事、学校行事、生徒会活動、部活動など、卒業生の活躍などを書いていただける方(自薦・他薦)は編集委員までお知らせ下さい。 編集責任者：浜島昭二 (19回)

shoji.hamajima@gmail.com

瑞陵法曹会有志一同

外堀通り法律事務所 高木 修 (瑞5回) 〒460-0002 名古屋市中区丸の内2-2-7 丸の内弁護士ビル901号 TEL.052-201-7656 FAX.052-204-1244	弁護士法人 柴田・中川法律特許事務所 柴田 肇 (瑞15回) 〒440-0814 豊橋市前田町1-2-11 TEL.0532-53-7087 FAX.0532-54-2106
--	--

中部総合法律事務所 長谷川 忠男 (瑞15回) 〒462-0014 名古屋市中区北区楠味鏡5-311 TEL.052-982-7632 FAX.052-982-7862 TEL.052-982-7672	さくら総合法律事務所 加藤 謙一 (瑞19回) 〒514-0007 三重県津市大谷町21-8 TEL.059-227-6951 FAX.059-225-5943	加藤茂法律事務所 加藤 茂 (瑞19回) 〒466-0064 名古屋市中区鶴舞3-8-9 TEL.052-732-7821 FAX.052-732-7822
---	---	---

中村・林法律事務所 中村 正典 (瑞21回) 〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-6-27 EBSビル2階 TEL.052-971-7424 FAX.052-971-7425	金山総合法律事務所 渥美 玲子 (瑞22回) 〒460-0022 名古屋市中区金山1-9-17 金山スズキビル8階 TEL.052-331-9054 FAX.052-331-9060	弁護士法人 岐阜合同法律事務所 安藤 友人 (瑞22回) 〒500-8812 岐阜市美江寺町1-5 岐阜北青色会館 TEL.058-264-3780 FAX.058-264-3784
--	---	---

成田龍一法律事務所 成田 龍一 (瑞23回) 〒460-0003 名古屋市中区錦3-14-14 セントラル錦ビル6階 TEL.052-973-0531 FAX.052-973-0533	弁護士法人 名古屋総合法律事務所 浅野 了一 (瑞24回) 〒460-0002 名古屋市中区丸の内2-20-25 メットライフ名古屋丸の内6階 TEL.052-231-2601 FAX.052-231-2602	後藤・林法律事務所 後藤 和男 (瑞24回) 〒460-0002 名古屋市中区丸の内2-14-20 ザ・スクエア8階S8号室 TEL.052-202-0680 FAX.052-203-1417
--	---	--

弁護士法人すばる本部事務所 大島 真人 (瑞26回) 〒460-0003 名古屋市中区錦2-19-1 名古屋鴻池ビル9階 TEL.052-220-2225 FAX.052-220-2228	白井法律事務所 白井 幹裕 (瑞33回) 〒460-0003 名古屋市中区錦3-1-30 錦マルエムビル3階 TEL.052-218-0566 FAX.052-221-5656	光が丘法律事務所 佐藤 成俊 (瑞38回) 〒464-0006 名古屋市中区千種区光が丘1-18-3 TEL.052-712-3350 FAX.052-712-3352
--	--	---

ジェイ・ユー・エヌ服部順法律事務所 服部 順 (瑞38回) 〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-21-25 清風ビル5階 TEL.052-962-8511 FAX.052-962-8512	鶴舞総合法律事務所 安井 一大 (瑞56回) 〒466-0015 名古屋市中区昭和区御器所通3-18 エステイプラザ御器所4階 TEL.052-852-1220 FAX.052-852-1227	原島法律事務所 栗山 晋 (瑞57回) 〒460-0003 名古屋市中区錦3-5-31 ジブラルタ生命名古屋錦ビル4階 TEL.052-959-4511 FAX.052-959-4512
---	---	---

安藤・中尾・中村法律事務所 安藤 恭平 (瑞59回) 〒461-0001 名古屋市中区東区泉1-3-41 ネットプラザ泉ビル2階203 TEL.052-211-7651 FAX.052-211-7652	栄パーク総合法律事務所 河口 航平 (瑞61回) 〒461-0005 名古屋市中区東区東桜1-10-29 パークサイドビル5階 TEL.052-962-2268 FAX.052-962-2259
---	---